

2018年度 L2-Tech水準表 Ver.1.02

2018年度 L2-Tech水準表 Ver.1.02 (2019年3月)

- 本水準表の作成にあたっては、カタログ等、企業が広く公表している資料及びWebページを中心に情報を収集し、当該技術に専門的知見を有する有識者からもご意見をいただきながら、科学技術的・客観的観点から情報を整理しています。
- 本水準表は、2019年3月までに収集した情報をもとに作成したものであり、今後も情報収集を継続するとともに、ご意見をいただき更新・充実させていく予定です。

項目		主な記載内容
L2-TechリストNo.		設備・機器等ごとにIDを付番。
区分		以下のように、エネルギー源を示した「部門」軸と、エネルギー技術を原理・しくみの違いで整理した「技術」軸に区分。 部門1 ：当該設備・機器等の導入可能性の高い部門 部門2 ：当該設備・機器等の利用可能性の高い用途、業種、プロセス、輸送手段、エネルギー種別 技術分類 ：設備・機器等のカテゴリ（基本的な原理・しくみの種別） ※参照：環境省「日本の約束草案要綱（案）」、国立環境省「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」、エネルギー戦略協議会「エネルギー技術体系」、日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」
設備・機器等		設備・機器等（システム、設備・機器、部材等）の名称を記載。2050年までに80%の温室効果ガス削減という目標に向けて、環境省がCO2削減に重要と考える設備・機器等（カテゴリ）を、「CO2削減効果」及び「導入可能性」の観点で選定。
原理・しくみ		設備・機器等の原理・しくみ、またはCO2削減に資する原理・しくみの説明を記載。
クラス		認証の単位となるクラスを記載。購買の選択条件に応じて、条件（仕様、付加機能等）、及び能力（加熱能力、発電出力等）で分類。
認証対象		2018年度L2-Tech認証制度において、募集対象となる設備・機器等を「○（または●*1）」、募集対象外の設備・機器等を「-（ハイフン）」として記載。 *1 簡易申請の対象となり得るクラス（条件・能力）に付与（詳細は、実施要領に記載）
L2-Tech水準表情報No.		クラスごとにIDを付番。
L2-Tech水準		L2-Tech水準を記載。本水準は、指定された試験条件に基づき測定された結果を、指定の計算方法によって算出した値である。本水準は、2018年1月時点における値であり、かつ収集できた情報のうち最高性能の値を採用している。なお、「*（アスタリスク）」が付与されているクラスは、根拠資料として試験結果報告書の提出を受付可能であることを示す。（詳細は、実施要領に記載）
指標	測定単位	L2-Tech水準の単位、及びその名称を記載。
	評価方法のタイプ	以下のいずれかから、効率性能の評価方法のタイプを記載。 標準規格による評価 ：JIS等の国際・日本標準の規格、または省エネ法等の法律に準拠した試験条件及び計算方法によって評価する方法 標準条件による評価 ：規格化されていないが一部で標準条件として用いられている、または標準として業界と合意した試験条件及び計算方法によって評価する方法 シミュレーションによる評価 ：標準条件に基づき、実試験ではなくコンピュータ上で模擬試験を行うことによって評価する方法 具備機能による評価 ：一定レベル以上の機能を具備しているものを評価する方法
	計算方法	性能の計算方法について、準拠すべき規格または具体的な方法を記載。
	試験条件	性能を評価するための試験条件について、準拠すべき規格または具体的な条件を記載。
備考		特記事項を記載。

記号の使用法

本水準表の中の「-」、「・」及び「/」は、下記を示す。

「-」：対象項目に該当する情報が存在しない、非対象、調査中、または調整中。

「・」：AND条件。例）空調機（ヒートポンプ・個別方式） → （ヒートポンプかつ個別方式の）空調機

「/」：OR条件。例）空調/産業用プロセス → 空調または産業用プロセス

区分	L2-Tech リストNo.	設備・機器等	(掲載数)
A 産業・業務 (業種共通)	空調機 (ヒートポンプ・個別方式)	L-000897 ガスヒートポンプ L-000898 パッケージエアコン(店舗・オフィス用) L-000899 パッケージエアコン(設備用) L-000900 パッケージエアコン(ビル用マルチ) L-000901 水蓄熱式パッケージエアコン	(5)
	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	L-000902 フロン類等冷媒ターボ冷凍機 L-000903 自然冷媒ターボ冷凍機 L-000904 水冷ヒートポンプチャラー L-000905 空冷ヒートポンプチャラー	(4)
	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)・熱源補機	L-000907 水蓄熱ユニット	(1)
	熱源・空調機 (気化式・中央方式)	L-000909 間接気化式冷却器	(1)
	熱源・空調機 (吸収式・中央方式)	L-000910 吸収冷温水機 (二重効用) L-000911 吸収冷温水機 (三重効用)/廃熱投入型吸収冷温水機 (三重効用) L-000912 一重二重併用形吸収冷温水機 L-000913 木質ペレット直焚き吸収冷温水機 (二重効用)	(4)
	熱源・空調機 (地中熱利用・中央方式)	L-000917 パッシブ地中熱利用システム	(1)
	熱源・空調機 (吸着式・中央方式)	L-000918 吸着式冷凍機	(1)
	熱源 (ヒートポンプ)	L-000919 高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式) L-000920 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式) L-000921 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式) L-000922 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式) L-000923 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式) L-000924 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式) L-000290 熱風ヒートポンプ(空気熱源・一過式) L-000895 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式) L-000896 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式) L-000668 蒸気再圧縮装置	(10)
	空調機 (ペレットストーブ)	L-000629 密閉式ペレットストーブ	(1)
	給湯器 (ヒートポンプ)	L-000670 ヒートポンプ給湯機(空気熱源)	(1)
	給湯器 (ガス式)	L-000672 潜熱回収型給湯器	(1)
	ボイラ	L-000611 温水機 L-000600 蒸気ボイラ(貫流ボイラ) L-000675 蒸気ボイラ(伊簡煙管ボイラ) L-000676 蒸気ボイラ(水管ボイラ) L-000621 水素ボイラ (貫流ボイラ) L-000689 熱媒ボイラ	(6)
	コージェネレーション	L-000690 ガスエンジンコージェネレーション L-000691 ガスタービンコージェネレーション L-000692 燃料電池コージェネレーション	(3)
	冷凍冷蔵機器	L-000695 業務用冷凍冷蔵庫 L-000696 空気冷媒方式冷凍機 L-000697 冷凍冷蔵庫用自然冷媒冷凍機 (アンモニア/CO2二次冷媒システム) L-000624 自然冷媒冷凍冷蔵コンデンシングユニット	(4)
	照明器具	L-000698 LED照明器具	(1)
	プリンタ/複写機	L-000699 プリンタ L-000700 複合機	(2)
	モータ	L-000701 誘導モータ L-000702 永久磁石同期モータ	(2)
	変圧器	L-000719 油入変圧器 L-000720 モールド変圧器	(2)
	モータ利用機器 (圧縮機)	L-000716 蒸気駆動圧縮機 L-000717 熱回収式ねじ容積形圧縮機	(2)
	窓	L-000737 Low-E複層ガラス L-000738 三層Low-E複層ガラス L-000739 真空Low-E複層ガラス L-000740 アタッチメント付きLow-E複層ガラス L-000771 真空ガラス L-000772 現場施工型後付けLow-E複層ガラス L-000743 薄型Low-E複層ガラス	(7)
	断熱材	L-000774 断熱材(押出法ポリスチレンフォーム) L-000775 断熱材(グラスウール) L-000625 真空断熱材	(3)
	洗濯機	L-000776 業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	(1)
	エネルギーマネジメントシステム	L-000660 BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	(1)
	乾燥設備	L-000616 蒸気リサイクル型連続乾燥装置	(1)
	その他	L-000666 サーバ用電子計算機	(1)
	オフロード特殊自動車 (建設機械・内燃機関型)	L-000704 油圧ショベル (内燃機関型) L-000705 ブルドーザ (内燃機関型) L-000706 ホイールローダ (内燃機関型)	(3)

区分	L2-Tech リストNo.	設備・機器等	(掲載数)
B 産業 (業種固有)	オフロード特殊自動車 (建設機械・ハイブリッド型)	L-000708 油圧ショベル (ハイブリッド型)	(1)
	オフロード特殊自動車 (建設機械・電気型)	L-000711 油圧ショベル (電動型)	(2)
	洗浄乾燥機	L-000712 ブルドーザ(電動型) L-000890 遠心脱水機コンテナ (容器) 洗浄乾燥機 L-000891 内部熱交換最適化蒸留システム	(1)
	蒸留塔	L-000892 熱回収式工業用繊維物乾燥機	(1)
	乾燥機	L-000893 熱回収式工業用繊維物乾燥機	(1)
	熱処理機	L-000894 ガソリン・ディーゼル車 (乗用車)	(2)
	自動車 (内燃機関型)	L-000630 ディーゼル・天然ガス車 (商用車・重量車)	(2)
	自動車 (ハイブリッド型)	L-000632 ハイブリッド自動車 (乗用車) L-000633 ハイブリッド自動車 (商用車・重量車)	(2)
	自動車 (電気型)	L-000635 電気自動車 (乗用車)	(1)
	空調機 (ヒートポンプ)	L-000848 ルームエアコン L-000849 ヒートポンプ冷温水システム L-000850 ヒートポンプ式温水床暖房 L-000851 ルームエアコン付温水床暖房 L-000852 マルチタイプ温水床暖房 L-000853 地中熱ルームエアコン L-000854 地中熱ヒートポンプ冷温水システム (ハイブリッド式) L-000534 密閉式ペレットストーブ(家庭用) L-000643 家庭用エコキュート L-000644 多機能ヒートポンプ給湯機 L-000856 太陽熱集熱器対応型エコキュート L-000645 ガス温水機器 (エコジョーズ) L-000857 ハイブリッド給湯機 (家庭用) L-000858 石油温水機器 (エコフィール) L-000860 真空管集熱器 (強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用) L-000861 平板形集熱器 (強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用) L-000862 蓄熱槽 (強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用)	(5)
給湯器 (ヒートポンプ)	L-000643 家庭用エコキュート L-000644 多機能ヒートポンプ給湯機	(2)	
給湯器 (ヒートポンプ・太陽熱利用)	L-000856 太陽熱集熱器対応型エコキュート	(1)	
給湯器 (ガス式)	L-000645 ガス温水機器 (エコジョーズ)	(1)	
給湯器 (ヒートポンプ・ガス式)	L-000857 ハイブリッド給湯機 (家庭用)	(1)	
給湯器 (石油式)	L-000858 石油温水機器 (エコフィール)	(1)	
給湯器 (太陽熱利用)	L-000860 真空管集熱器 (強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用) L-000861 平板形集熱器 (強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用)	(3)	
コージェネレーション	L-000646 家庭用燃料電池 (エネファーム・PEFC) L-000647 家庭用燃料電池 (エネファーム・SOFC)	(2)	
冷凍冷蔵機器	L-000648 電気冷蔵庫	(1)	
照明器具	L-000649 LED照明器具 (家庭用)	(1)	
テレビ	L-000863 液晶テレビ	(1)	
洗濯機	L-000842 洗濯乾燥機	(1)	
電気便座	L-000864 電気便座	(1)	
窓	L-000650 Low-E複層ガラス (家庭用) L-000651 三層Low-E複層ガラス (家庭用) L-000652 真空Low-E複層ガラス (家庭用) L-000653 アタッチメント付きLow-E複層ガラス (家庭用) L-000654 真空ガラス (家庭用) L-000655 現場施工型後付けLow-E複層ガラス (家庭用) L-000656 薄型Low-E複層ガラス (家庭用) L-000657 Low-E複層ガラス・樹脂サッシ L-000658 Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ L-000659 三層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ L-000835 三層Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ L-000836 五層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ L-000837 真空ガラス・樹脂サッシ L-000838 真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	(14)	
玄関ドア	L-000609 金属製玄関ドア	(1)	
断熱材	L-000839 断熱材(家庭用・押出法ポリスチレンフォーム) L-000840 断熱材(家庭用・グラスウール) L-000520 真空断熱材(家庭用)	(3)	
エネルギーマネジメントシステム	L-000846 HEMS (情報提供サービス・家電全般)	(1)	
燃料電池	L-000780 固体化合物燃料電池 (SOFC) 設備	(1)	
太陽光発電	L-000786 太陽電池(シリコン系・単結晶) L-000787 太陽電池(シリコン系・多結晶) L-000788 太陽電池(化合物系) L-000789 太陽電池 (薄膜シリコン) L-000790 トランズレス方式パワーコンディショナ (太陽光発電用) L-000791 高周波変圧器絶縁方式パワーコンディショナ (太陽光発電用)	(6)	
水力発電	L-000798 プロペラ水車 (小水力発電用) L-000799 フランシス水車 (小水力発電用)	(2)	
地熱発電	L-000803 温水熱源小型バイナリー発電設備 L-000804 蒸気熱源小型バイナリー発電設備 L-000807 ガスエンジン発電設備 (メタン発酵発電用)	(2)	
熱輸送	L-000808 潜熱蓄熱輸送設備	(1)	
リン回収設備	L-000829 リン回収設備HAP法 (し尿・浄化槽汚泥用) L-000830 リン回収設備MAP法 (し尿・浄化槽汚泥用) L-000831 リン回収設備MAP法 (下水汚泥用)	(3)	
選別機	L-000833 近赤外線樹脂選別機	(1)	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標													
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験する規格	規格の名称	試験条件	説明						
														単位	名称					計算式					
L-000897	産業・業務 (業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	ガスヒートポン プ	室外機内のコンプレッサの駆動をガスエンジンで行うヒートポン プ方式の空気調和機。	相当馬力数	7.5HP以下	• S-003275	1.19	COPp	標準規格 による評 価	-	-	COP _{ps} = (Ccr+Chr) / 2 Ccr=Φ crl/(Gcr+Pcr/(3600/9750)), Chr=Φ chl/(Ghr+Phr/(3600/9750)) Ccr: 冷房成績係数 Chr: 暖房成績係数 Φcr: 定格冷房標準能力(kW) Φhr: 定格暖房標準能力(kW) Gcr: 定格冷房標 準ガス消費量(kW) Ghr: 定格暖房標準ガス消費 量(kW) Pcr: 定格冷房標準消費電力(kW) Phr: 定格暖房標準消費電力(kW) ※COPは、小数点 3桁目を切捨て、小数点2桁目までを表示する。	JRA4067:201 5または JISB8627:20 06	いずれもガ スヒートポ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。た だし、電源の周波数は、50Hzとする。								
							7.5HP超10HP以下	• S-003276	1.22																
							10HP超16HP以下	• S-003277	1.33																
							16HP超25HP以下	• S-003278	1.34																
							25HP超	• S-003279	1.3																
							7.5HP以下	• S-003300	-									期間成績係 数 (APFP)	標準規格 による評 価	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠
							7.5HP超10HP以下	• S-003280	1.39																
							10HP超16HP以下	• S-003281	1.86																
16HP超25HP以下	• S-003282	1.98																							
25HP超	• S-003283	1.91																							

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説明
												単位	名称		計算式	規格の名称				
					寒冷地仕様	相当馬力数	7.5HP以下	• S-003284	1.19		COPp	標準規格 による評 価			$COP_{ps} = \frac{Ccr + Chr}{crr(Ccr + Pcr) / (3600 / 9750)} + Chr - \Phi$ $chr / (Ghr + Phr) / (3600 / 9750)$ Ccr: 冷房成績係数 Chr: 暖房成績係数 Φcr: 定格冷房標準能力(kW) Φhr: 定格暖房標準能力(kW) Gcr: 定格冷房標準 消費電力(kW) Ghr: 定格暖房標準消費電力(kW) Pcr: 定格冷房標準消費電力(kW) Pchr: 定格暖房標準消費電力(kW) ※COPpは、小数点 3桁目を切捨て、小数点2桁目までを表示する。	JRA4067:2015または JISB8627:2006	いずれもガ スヒートボ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015または JISB8627:2006に準拠。ただ し、電源の周波数は、50Hzとする。		
						7.5HP超10HP以下	• S-003285	1.22												
						10HP超16HP以下	• S-003286	1.34												
						16HP超25HP以下	• S-003287	1.34												
						25HP超	• S-003288	1.27												
						7.5HP以下	- S-003302	-			期間成績係 数 (APFp)	標準規格 による評 価	JISB8627:2015	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:2015	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠		
						7.5HP超10HP以下	• S-003289	1.39												
						10HP超16HP以下	○ S-003290	1.86												
						16HP超25HP以下	• S-003291	1.93												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	計 算 式	準拠する規格	規格の名称	説 明		
						25HP超			• S-003292	1.85														
						発電機付	相当馬力数	7.5HP以下	-	S-003304	-	-	COPp	標準規格 による評 価	-	-								
								7.5HP超10HP以下	-	S-003307	-													
								10HP超16HP以下	•	S-003293	1.34													
								16HP超25HP以下	•	S-003294	1.34													
								25HP超	•	S-003296	1.27													
								7.5HP以下	-	S-003308	-	-	期間成績係 数 (APFp)	標準規格 による評 価	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠				
								7.5HP超10HP以下	-	S-003309	-													
								10HP超16HP以下	•	S-003295	1.86													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単 位	名 称		計算式	単位の規格	規格の名称	単位の規格	規格の名称	説 明				
							16HP超25HP以下		○ S-003297	1.97														
							25HP超		● S-003299	1.91														
L-000898	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	パッケージエ アコン(店舗・オ フィス用)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が4 ~28kW程度。主に店舗・オフィス向け。	冷房能力	4.0kW以下		○ S-003311	8.1	-	通年エネル ギー消費効 率 (APF)	標準規格 による評 価	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠					
							4.0kW超 5.0kW以下		○ S-003316	7.9														
							5.0kW超 6.3kW以下		○ S-003318	8.1														
							6.3kW超 11.2kW以下		○ S-003389	7.3														
							11.2kW超 16.0kW以下		● S-003396	6.7														
							16.0kW超		○ S-003398	6.3														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				L2-Tech 水準	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	
													単位	名称		標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称
L-000899	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	パッケージア エアコン(設備用)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空調機で、冷房能力が9 ~140kW程度。主に工場向け。	冷房能力	28kW以下	• S-003404	4.8	- 通年エネルギー消費効 率(APEF)	標準規格 による評 価	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠		
							28kW超 45kW以下	• S-003410	4.2										
							45kW超 56kW以下	• S-003414	4										
							56kW超 80kW以下	• S-003417	3.9										
							80kW超 112kW以下	• S-003423	3.5										
							112kW超 140kW以下	• S-003426	3.5										
	140kW超	• S-003431	3.5																
				排熱利用型	冷房能力	9.8kW	○ S-003440	6.1	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8615-2	エアコン ディショナ -第2部: ダクト接続 型エアコン ディショナ 及び空気対 空気ヒート ポンプ-定 格性能及び 運転性能試 験方法	JISB8615-2に準拠	JISB8615-2	エアコン ディショナ -第2部: ダクト接続 型エアコン ディショナ 及び空気対 空気ヒート ポンプ-定 格性能及び 運転性能試 験方法	JISB8615-2に準拠。ただし、ユニット吸込温度に ついては55℃とする。			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標					
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	
														単位	名称	単位	規格の名称
L-000900	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	パッケージア コン(ビル用マ ルチ)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が 14～120kW程度。主にビル向け。室内機ごとの個別制御機能を持 つ。	冷房能力	14.0kW以下	○ S-003444	6.7	通年エネル ギー消費効 率 (APF)	標準規格 による評 価	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	
							14.0kW超 16.0kW以下	● S-003448	6								
							16.0kW超 22.4kW以下	● S-003453	6.5								
							22.4kW超 28.0kW以下	● S-003458	6.3								
							28.0kW超 33.5kW以下	● S-003462	6.4								
							33.5kW超 40.0kW以下	● S-003468	6.2								
							40.0kW超 56.0kW以下	● S-003469	6.5								

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		試験規格		試験方法		試験条件	
												単位	名称		規格	規格	計算式	規格	規格	説明		
							56.0kW超 69.0kW以下		• S-003470	6.4												
							69.0kW超 80.0kW以下		• S-003471	6.5												
							80.0kW超 90.0kW以下		• S-003472	6.4												
							90.0kW超		• S-003473	6.4												
L-000901	産業・業務 (業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 蓄熱方式)	水蓄熱式パッケージエアコン	パッケージエアコンの室外ユニットと室内ユニットの間に水蓄熱槽を持っており、夜間の冷房を使わない時間帯に、水蓄熱槽の熱交換器で水を作り、昼間の冷房運転時には、室外ユニットを通った冷媒を水蓄熱槽の熱交換器でさらに冷やしてから室内機に送ることによって利用する。2050年に向けた再生可能エネルギー発電の最大活用に資することが期待される。	蓄熱利用冷房能力	14.0kW以下		• S-003474	3.64		日量蓄熱利 用冷房効率	標準規格 による評 価	JRA4053:200 7	水蓄熱式 パッケージ エアコン ディシヨナ	JRA4053:2007に準拠	JRA4053:200 7	水蓄熱式 パッケージ エアコン ディシヨナ	JRA4053:2007に準拠			
							14.0kW超16.0kW以下		- S-003475	-												
							16.0kW超22.4kW以下		- S-003476	-												
							22.4kW超28.0kW以下		- S-003477	-												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件						
												単 位	名 称		計算式	単位の規格	規格の名称	規格の名称	説 明				
						28.0kW超45.0kW以下	-	S-003481	-														
						45.0kW超56.0kW以下	-	S-003485	-														
						56.0kW超80.0kW以下	-	S-003486	-														
						80.0kW超112.0kW以下	-	S-003491	-														
						112.0kW超	•	S-003500	2.6														
L-000902	産業・業 務（業種 共通）	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機 （ヒート ポンプ・ 中央方 式）	フロン類等冷媒 ターボ冷凍機	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷媒を蒸発させ蒸発器内のパイプの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使用する機器。蒸発した冷媒は圧縮機で昇圧され、凝集器内の冷却水で凝縮され液体に戻る。HFC冷媒またはHFO冷媒を使用している。	冷却能力		200RT未満	•	S-003504	6.7 *	-	期間成績係 数（IPLV）	標準規格 による評 価	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠			
								200RT以上300RT未満	•	S-003505	9.42 *												
								300RT以上400RT未満	•	S-003506	9.43 *												
								400RT以上500RT未満	•	S-003507	9.57 *												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		試験規格の名称		試験方法		試験条件	
												単位	名称		規格の名称	規格の名称	計算式	規格の名称	規格の名称	説明		
						500RT以上600RT未満	• S-003509	9.2 *														
						600RT以上700RT未満	• S-003510	9.3 *														
						700RT以上1000RT未満	• S-003511	9.1 *														
						1000RT以上1500RT未満	• S-003512	9.29 *														
						1500RT以上	• S-003513	9.29 *														
						200RT未満	• S-003514	6.04 *				-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠		
						200RT以上300RT未満	• S-003515	6.32 *														
						300RT以上400RT未満	• S-003516	6.31 *														
						400RT以上500RT未満	• S-003517	6.6 *														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算法		試験条件						
												単位	名称		単位	名称	単位	名称	説明				
						500RT以上600RT未満	• S-003518	6.5 *															
						600RT以上700RT未満	• S-003519	6.29 *															
						700RT以上1000RT未満	• S-003520	6.4 *															
						1000RT以上1500RT未満	• S-003521	6.5 *															
						1500RT以上	• S-003522	6.5 *															
L-000903	産業・業務 (業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空調機 (ヒート ポンプ・ 中央方式)	自然冷媒ターボ 冷凍機	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷媒を蒸発させ蒸発器内のパイプの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使用する機器。蒸発した冷媒は圧縮機で昇圧され、凝縮器内の冷却水で凝縮され液体に戻る。従来はHFC冷媒が使用されるケースが多いが、本設備・機器等は自然冷媒である水が使用されている。公共スペース、地下街、及び医療機関での使用が期待されている。	-	冷却能力	200RT未満	• S-003523	7.36 *	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠			JISB8621:2011に準拠	
						-		300RT以上400RT未満	• S-003524	-													
L-000904	産業・業務 (業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空調機 (ヒート ポンプ・ 中央方式)	水冷ヒートポン プチラー	水を熱源としたヒートポンプ方式の水冷式チリングユニット。	-	冷却能力	40.0kW以下	• S-003525	4.48	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠			JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	
						-		40.0kW超80.0kW以下	• S-003526	4.21													
						-		80.0kW超118.0kW以下	• S-003527	5.41													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算法			試験条件						
												単 位	名 称		重畳する規程	規格の名称	計算法	重畳する規程	規格の名称	説 明				
						118.0kW超180.0kW以下	●	S-003528	5.28															
						180.0kW超500.0kW以下	○	S-003529	5.57															
						500.0kW超1000.0kW以下	●	S-003530	6															
						1000.0kW超1500.0kW以下	○	S-003531	5.22															
					ブライン仕様、ブライン入口温度3℃、ブライン出口温度0℃	冷却能力	40.0kW以下	●	S-003532	3.28	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については3℃、ブライン出口温度については0℃とする。					
						40.0kW超80.0kW以下	●	S-003533	2.65															
						80.0kW超118.0kW以下	-	S-003534	-															
						118.0kW超180.0kW以下	-	S-003535	-															
						180.0kW超500.0kW以下	-	S-003538	-															
						500.0kW超1000.0kW以下	-	S-003543	-															
						1000.0kW超1500.0kW以下	-	S-003544	-															
					ブライン仕様、ブライン入口温度-3℃、ブライン出口温度-7℃	冷却能力	40.0kW以下	○	S-003547	2.24	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については-3℃、ブライン出口温度については-7℃とする。					
						40.0kW超80.0kW以下	○	S-003552	2.61															
						80.0kW超118.0kW以下	○	S-003556	2.54															
						118.0kW超180.0kW以下	○	S-003558	2.53															
						180.0kW超500.0kW以下	○	S-003559	2.49															
						500.0kW超1000.0kW以下	-	S-003566	-															
						1000.0kW超1500.0kW以下	-	S-003569	-															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標													
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件									
														単位	名称	標準する規程	規程の名称	標準する規程	規程の名称	説明					
L-000905	産業・業 務(業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機 (ヒート ポンプ・ 中央方 向)	空冷ヒートポン プチラー	空気を熱源としたヒートポンプ方式の空冷式チリングユニット。	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003298	-	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠						
							60.0kW超90.0kW以下	•	S-003301	6.4															
							90.0kW超120.0kW以下	•	S-003303	6															
							120.0kW超160.0kW以下	•	S-003305	5.7															
							160.0kW超	•	S-003306	5.3															
							60.0kW以下	○	S-003310	3.85															
							60.0kW超90.0kW以下	•	S-003313	4.07															
							90.0kW超120.0kW以下	○	S-003314	4															
							120.0kW超160.0kW以下	•	S-003315	3.56															
							160.0kW超	•	S-003317	4.3															
							出口温度60℃	加熱能力	60.0kW以下	-	S-003319	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、出口温度は60℃とする。				
									60.0kW超90.0kW以下	-	S-003320	-	-												
									90.0kW超120.0kW以下	•	S-003321	2.51													
									120.0kW超160.0kW以下	•	S-003322	2.58													
									160.0kW超	○	S-003323	2.54													
							ブライン仕様、ブライン入 口温度0℃、ブライン出口 温度5℃	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003324	-	-	成績係数 (COP)	標準規程 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、ブライン入口温度については0℃、ブライン 出口温度については5℃とする。				
									60.0kW超90.0kW以下	○	S-003325	2.84													
									90.0kW超120.0kW以下	○	S-003326	2.52													
									120.0kW超160.0kW以下	○	S-003327	2.64													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標														
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件								
												単位	名称		単位	名称	単位	名称	説明						
							160.0kW超	○	S-003328	2.79															
						ブライン仕様、ブライン入口温度0℃、ブライン出口温度-5℃、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003329	-	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については0℃、ブライン出口温度については-5℃とする。
							60.0kW超90.0kW以下	○	S-003330	2.9															
							90.0kW超120.0kW以下	○	S-003331	2.75															
							120.0kW超160.0kW以下	-	S-003332	-															
							160.0kW超	-	S-003333	-															
						ブライン仕様、ブライン入口温度-2℃、ブライン出口温度-5℃	冷却能力	60.0kW以下	●	S-003334	2.78	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については-2℃、ブライン出口温度については-5℃とする。		
							60.0kW超90.0kW以下	○	S-003335	2.71															
							90.0kW超120.0kW以下	○	S-003336	2.72															
							120.0kW超160.0kW以下	○	S-003337	2.63															
							160.0kW超	○	S-003338	2.72															
						ブライン仕様、ブライン入口温度3℃、ブライン出口温度0℃	冷却能力	60.0kW以下	●	S-003339	2.45	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については3℃、ブライン出口温度については0℃とする。		
							60.0kW超90.0kW以下	-	S-003340	-															
							90.0kW超120.0kW以下	-	S-003341	-															
							120.0kW超160.0kW以下	-	S-003342	-															
							160.0kW超	-	S-003343	-															
						ブライン仕様、ブライン入口温度-3℃、ブライン出口温度-7℃	冷却能力	60.0kW以下	●	S-003344	2.39	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	いずれもウォータチリングユニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については-3℃、ブライン出口温度については-7℃とする。		
							60.0kW超90.0kW以下	●	S-003345	2.36															
							90.0kW超120.0kW以下	●	S-003346	2.25															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		規格の名称		計算方法		試験条件	
												単 位	名 称		単 位	名 称	計 算 式	単 位	規 格	計 算 式	単 位	規 格
						120.0kW 超160.0kW 以下	-	S-003347	-													
						160.0kW 超	-	S-003348	-													
					寒冷地仕様	冷却能力	60.0kW 以下	-	S-003349	-		-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠		
						60.0kW 超90.0kW 以下	-	S-003350	-													
						90.0kW 超120.0kW 以下	-	S-003351	-													
						120.0kW 超160.0kW 以下	-	S-003352	-													
						160.0kW 超	-	S-003353	-													
						60.0kW 以下	-	S-003354	-		-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠			
						60.0kW 超90.0kW 以下	-	S-003355	-													
						90.0kW 超120.0kW 以下	-	S-003356	-													
						120.0kW 超160.0kW 以下	●	S-003358	2.89													
						160.0kW 超	-	S-003357	-													
					出口温度60℃ 寒冷地仕様	加熱能力	60.0kW 以下	-	S-003359	-		-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、出口温度は60℃とする。		
						60.0kW 超90.0kW 以下	-	S-003360	-													
						90.0kW 超120.0kW 以下	○	S-003361	2.02													
						120.0kW 超160.0kW 以下	○	S-003362	2.04													
						160.0kW 超	○	S-003363	2													
					寒冷地仕様、散水式	冷却能力	60.0kW 以下	-	S-003364	-		-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠		
						60.0kW 超90.0kW 以下	-	S-003365	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算法		試験条件		
												単位	名称		重畳する規格	規格の名称	計算式	重畳する規格	規格の名称
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-003366	-										
						120.0kW超160.0kW以下	-	S-003367	-										
						160.0kW超	-	S-003368	-										
						60.0kW以下	-	S-003373	-			成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
						60.0kW超90.0kW以下	-	S-003371	-										
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-003370	-										
						120.0kW超160.0kW以下	•	S-003374	3.79										
						160.0kW超	-	S-003369	-										
					放水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003375	-		期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
						60.0kW超90.0kW以下	•	S-003376	6.6										
						90.0kW超120.0kW以下	•	S-003377	6.4										
						120.0kW超160.0kW以下	•	S-003378	6.1										
						160.0kW超	•	S-003379	6										
						60.0kW以下	○	S-003380	4.86			成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
						60.0kW超90.0kW以下	•	S-003381	6.2										
						90.0kW超120.0kW以下	•	S-003382	5.46										
						120.0kW超160.0kW以下	○	S-003383	4.86										
						160.0kW超	○	S-003384	6										
					放水式、冷水出入口温度差 7℃	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003385	-		期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件						
												単 位	名 称		単位の規格	規格の名称	計算式	単位の規格	規格の名称	説 明			
						60.0kW超 90.0kW以下	• S-003386	7															
						90.0kW超 120.0kW以下	• S-003387	6.7															
						120.0kW超 160.0kW以下	• S-003388	6.5															
						160.0kW超	• S-003391	6.3															
						60.0kW以下	○ S-003392	5.04	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。						
						60.0kW超 90.0kW以下	• S-003395	6.39															
						90.0kW超 120.0kW以下	• S-003397	5.65															
						120.0kW超 160.0kW以下	○ S-003393	5.04															
						160.0kW超	○ S-003394	6.3															
					冷水出入口温度差7℃	冷却能力	- S-003399	-	-	期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。						
						60.0kW以下	○ S-003405	4	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。						
						60.0kW超 90.0kW以下	• S-003406	4.13															
						90.0kW超 120.0kW以下	• S-003407	3.86															
						120.0kW超 160.0kW以下	• S-003408	3.5															
						160.0kW超	○ S-003409	3.22															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)	認定 対象			測定単位	名称	評価方法の タイプ	標準規格		計算方法	標準規格		試験条件	説明
															標準規格 番号	規格の名称		標準規格 番号	規格の名称		
					冷房専用	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003411	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。		
							60.0kW超90.0kW以下	•	S-003412	5.7											
							90.0kW超120.0kW以下	•	S-003413	6											
							120.0kW超160.0kW以下	•	S-003415	5.6											
							160.0kW超	•	S-003416	5.3											
							60.0kW以下	•	S-003418	3.67		-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。	
							60.0kW超90.0kW以下	•	S-003419	4.07											
							90.0kW超120.0kW以下	•	S-003420	3.81											
							120.0kW超160.0kW以下	•	S-003421	4											
							160.0kW超	○	S-003422	5.3											
					冷房専用、ブライン仕様、 ブライン入口温度2℃、ブ ライン出口温度5℃	冷却能力	60.0kW以下	•	S-003424	2.78		-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については2℃、ブライン 出口温度については5℃とする。	
							60.0kW超90.0kW以下	○	S-003425	2.71											
							90.0kW超120.0kW以下	○	S-003427	2.72											
							120.0kW超160.0kW以下	-	S-003428	-											
							160.0kW超	-	S-003429	-											
					冷房専用、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-003430	-		-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。	
							60.0kW超90.0kW以下	•	S-003432	6.6											
							90.0kW超120.0kW以下	•	S-003433	6.4											
							120.0kW超160.0kW以下	•	S-003434	6.1											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ		計算方法		試験条件						
													単位	名称	参照する規格	規格の名称	計算式	参照する規格	規格の名称	試験条件	説明		
						160.0kW超	• S-003435	6															
						60.0kW以下	○ S-003438	4.86	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。						
						60.0kW超90.0kW以下	• S-003439	6.2															
						90.0kW超120.0kW以下	• S-003441	5.46															
						120.0kW超160.0kW以下	○ S-003437	4.86															
						160.0kW超	○ S-003436	6															
					冷房専用、冷水出入口温度 差7℃	冷却能力	- S-003442	-	-	期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。						
						60.0kW以下	○ S-003443	6															
						60.0kW超90.0kW以下	• S-003443	6															
						90.0kW超120.0kW以下	• S-003445	6															
						120.0kW超160.0kW以下	• S-003446	5.7															
						160.0kW超	• S-003447	5.6															
						60.0kW以下	○ S-003449	4.01	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。						
						60.0kW超90.0kW以下	• S-003451	4.09															
						90.0kW超120.0kW以下	○ S-003452	3.86															
						120.0kW超160.0kW以下	• S-003454	3.5															
						160.0kW超	• S-003455	3.22															
					冷房専用、冷水出入口温度 差7℃、放水式	冷却能力	- S-003456	-	-	期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。						
						60.0kW以下	○ S-003457	7															
						60.0kW超90.0kW以下	• S-003457	7															
						90.0kW超120.0kW以下	• S-003459	6.7															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単位	名称		単位	名称	単位	名称	単位	名称				
						120.0kW超160.0kW以下	・ S-003460	6.5																
						160.0kW超	・ S-003461	6.3																
						60.0kW以下	○ S-003463	5.04	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。							
						60.0kW超90.0kW以下	・ S-003464	6.39																
						90.0kW超120.0kW以下	・ S-003465	5.65																
						120.0kW超160.0kW以下	○ S-003466	5.04																
						160.0kW超	○ S-003467	6.3																
L-000907	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機 (ヒート ポンプ・ 中央方 式)・熱 源補機	水蓄熱ユニット	中央方式の空調機における熱源機とは別に水蓄熱槽を持っており、夜間の冷房を使っていない時間帯に、水蓄熱槽の熱交換器で水を作り、昼間の冷房運転時には、室外ユニットを通った冷媒を水蓄熱槽の熱交換器でさらに冷やしてから室内機に送ることによって利用する。2050年に向けた再生可能エネルギー発電の最大活用が期待される。	定格日量冷却能力	-	S-003478	-	-	日量成績係 数	標準規格 による評 価	JRA4044:200 5	水蓄熱ユ ニット	JRA4044:2005に準拠	JRA4044:200 5	水蓄熱ユ ニット	JRA4044:2005に準拠						
						1000kW h 以下	-	S-003478	-															
						1000kW h 超2000kWh以下	-	S-003479	-															
						2000kWh超3000kWh以下	-	S-003480	-															
						3000kWh超4000kWh以下	-	S-003482	-															
						4000kWh超5000kWh以下	-	S-003483	-															
						5000kWh超	-	S-003484	-															
L-000909	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機(気 化式・中 央方式)	間接気化式冷却 器	間接気化式冷却器は、隔壁で仕切られたDRY流路とWET流路を多数積層した構造からなる。WET側の隔壁面は水を浸した湿潤壁である。ここでDRY流路に高温空気をWET流路には低温空気又は常温空気を流すことで、WET流路で気化熱現象を生じさせ、隔壁の温度が低下するため隣り合うDRY流路を流れる空気の熱が隔壁に伝達し絶対湿度の移行がなく冷却される。この冷却に用いるエネルギーは駆送動力と気化熱剤に使用する水のみのため、省エネ性が高く、CO2排出量を削減できる機器である。既に食品工場・生産工場・ショッピングセンターを中心に導入が進んでおり、今後データセンター向けに更なる普及が期待される。	冷却能力	・	S-003487	34.4 *	-	成績係数 (COP)	シミュ レーショ ンによる 評価	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:201 4及び JISB8615-2: 2015	ウォータチ リングユ ニット及び エアコン 第2.ダクト 接続型エア コンディ ションと空 気対空 気ヒートポン プ定省性能 及び運転性 能試験	JRA4066:2014及びJISB8615-2: 2015に準拠						
						14.0kW以下	・	S-003487	34.4 *															
						14.0kW超16.0kW以下	・	S-003488	34.5 *															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称
						16.0kW超22.4kW以下	•	S-003489	34.8 *										
						22.4kW超28.0kW以下	•	S-003490	34.9 *										
						28.0kW超33.5kW以下	•	S-003492	34.9 *										
						33.5kW超40.0kW以下	•	S-003493	35 *										
						40.0kW超60.0kW以下	•	S-003494	35.2 *										
						60.0kW超80.0kW以下	•	S-003495	35 *										
						80.0kW超100.0kW以下	•	S-003496	35.1 *										
						100.0kW超120.0kW以下	•	S-003497	35.2 *										
						120.0kW超140.0kW以下	•	S-003498	35.1 *										
						140.0kW超160.0kW以下	•	S-003499	35.1 *										
						160.0kW超200.0kW以下	•	S-003501	35.1 *										
						200.0kW超240.0kW以下	•	S-003502	35.1 *										
						240.0kW超280.0kW以下	•	S-003503	35.1 *										
					分流量型	冷却能力		S-004500	11.1 *										
						14.0kW以下	○	S-004500	11.1 *										
						14.0kW超16.0kW以下	○	S-004501	11 *										
						16.0kW超22.4kW以下	○	S-004502	11 *										
						22.4kW超28.0kW以下	○	S-004503	11.1 *										
								S-004500	11.1 *										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算法		試験条件				
														単位	名称	単位	規格	単位	規格	説明
						28.0kW超33.5kW以下	○	S-004504	11 *											
						33.5kW超40.0kW以下	○	S-004505	11 *											
						40.0kW超60.0kW以下	○	S-004506	11 *											
						60.0kW超80.0kW以下	○	S-004507	11 *											
						80.0kW超100.0kW以下	○	S-004508	11 *											
						100.0kW超120.0kW以下	○	S-004509	11 *											
						120.0kW超140.0kW以下	○	S-004510	11 *											
						140.0kW超160.0kW以下	○	S-004511	11 *											
						160.0kW超200.0kW以下	○	S-004512	11 *											
L-000910	産業・業 務(業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	吸収冷温水機 (二重効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低圧を得る冷凍機であり、 高温、低温再生器を有するもの。	節電型(冷却水量原単位 0.7m ³ /h、RT以下)、冷水入 口温度15℃、冷水出口温度 7℃	冷房能力	80RT以下	○	S-003536	1.48 *	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠
								80RT超1000RT以下	●	S-003539	1.48 *									
								1000RT超	○	S-003537	1.41 *									
						冷水入口温度12℃、冷水出 口温度7℃	冷房能力	80RT以下	○	S-003541	1.48	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠
								80RT超1000RT以下	●	S-003540	1.48									
								1000RT超	○	S-003542	1.46									
L-000911	産業・業 務(業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	吸収冷温水機 (三重効用) / 廃熱投入型吸収 冷温水機(三重 効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低圧を得る冷凍機であり、 高温、中温、低温再生器を有するもの。	冷水入口温度12℃、冷水出 口温度7℃	-		●	S-003545	1.74	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠
L-000912	産業・業 務(業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	一重二重併用形 吸収冷温水機	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低圧を得る冷凍機であり、 排熱を熱源として利用し、燃料削減率が20%以上のもの。	節電型(冷却水量原単位 0.7m ³ /h、RT以下)、冷水入 口温度15℃、冷水出口温度 7℃	冷房能力	80RT以下	○	S-003546	1.47	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠
								80RT超1000RT以下	●	S-003548	1.47									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法				試験条件					
														単位	名称	重畳する規格	規格の名称	計算式	重畳する規格	規格の名称	試験条件	説明	
										S-003549	-												
						冷水入口温度12℃、冷水出口温度7℃	冷房能力	90RT以下	1000RT超		S-003553	1.47	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JISB8622:2009またはJISB8622:2016	吸収式冷凍機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:2009またはJISB8622:2016	吸収式冷凍機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠		
								80RT超1000RT以下		S-003551	1.47												
								1000RT超		S-003550	-												
L-000913	産業・業務(業種共通)	空調	熱源・空調機(吸着式・中央方式)	木質ペレット直燃式吸収冷凍機(二重効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、高温・低温再生器を有するもの内、加熱源の燃料に木質ペレットを使用するもの。中央方式を採用する業務施設の冷暖房に使用される。		冷房能力	80RT以下		S-004469	1.04	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JIS B 8622 : 2009	吸収冷凍機	JIS B 8622 : 2009に準拠、ただし、成績係数は冷凍能力を加熱源消費熱量で除したものとし、消費電力は除外することとする。	JIS B 8622 : 2009	吸収冷凍機	JIS B 8622 : 2009に準拠			
								80RT超1000RT以下		S-004470	-												
								1000RT超		S-004471	-												
L-000917	産業・業務(業種共通)	空調	熱源・空調機(地中熱利用・中央方式)	パッシブ地中熱利用システム	熱交換パイプ、制御盤、ポンプ、ファンからなる。地下水又は温水をスパイラル状に通水できるパイプを地下2mに埋設し送風をすることで、空気と地中熱・水の熱と熱交換を行い温風、冷風を送風する機器。一般的には通風部のみあるクールチューブやアースチューブなどと呼ばれる空調機が存在する。こういったシステムと比べて、水が持つ熱との熱交換が知わたったことで、熱交換量が飛躍的に増え、大空間の空調を行えるようになった。		冷房能力	6.4kW		S-003560	-	-	成績係数(COP)	シミュレーションによる評価			COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費エネルギー[W]				成績係数(COP)の算出にあたっては、入気温度、吹き出し温度、給水温度、戻り水温度については、以下の通り設定することを条件とする。入気温度35℃、吹き出し温度27℃、給水温度：15℃、戻り水温度：15℃		
								8.2kW		S-003561	-												
								10.9kW		S-003567	15.57												
								12.8kW		S-003562	-												
								21.9kW		S-003563	-												
								29.2kW		S-003564	-												
								36.5kW		S-003565	-												
L-000918	産業・業務(業種共通)	空調/産業用プロセス	熱源・空調機(吸着式・中央方式)	吸着式冷凍機	吸着器内部に充填された吸着剤に冷媒を吸着させ、冷媒の蒸発を促し、その気化熱から冷凍効果を得る冷凍機。	熱源入口温度58℃				S-003568	15.2	-	電力COP	標準条件による評価			COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費エネルギー[W]注：上記のCOPは電力COPである				成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ次のとおり設定することを条件とする。冷水出口温度：15℃、冷却水入口温度：27℃、熱源入口温度：58℃注：上記のCOPは電力COPである		
						熱源入口温度：68℃	冷房能力	2.5kW以上25kW未満		S-004513	22	-	電力COP	標準条件による評価			COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費エネルギー[W]注：上記のCOPは電力COPである				成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ以下のとおり設定することを条件とする。冷水出口温度：15℃、冷却水入口温度：27℃、熱源入口温度：68℃注：上記のCOPは電力COPである		
								25kW以上50kW未満		S-004514	25	-											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件					
														単位	名称	単調する規格	規格の名称	単調する規格	規格の名称	説明	
L-000919	産業・業 務(業種 共通)	給湯/産 業用プロセ ス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(空気熱源・ 循環式)	空気を熱源とし、循環式の供給方式が可能なヒートポンプ方式 で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含ま ないもの。	50kW以上	°	S-004515	26 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を次 のとおり設定することを条件とする。温水出口温 度：65℃以上70℃以下、乾球温度：16℃、湿球温 度：12℃、温水出入口温度差：5℃			
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度16℃、湿球 温度12℃、温水出入口温度 差5℃	-	S-003571	3.09 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出口 温度：65℃以上70℃以下、乾球温度：25℃、湿球 温度：21℃、温水出入口温度差：10℃			
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度25℃、湿球 温度21℃、温水出入口温度 差10℃	-	S-003572	3.63 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出口 温度：65℃以上70℃以下、乾球温度：25℃、湿球 温度：21℃、温水出入口温度差：10℃			
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度25℃、湿球 温度21℃、温水出入口温度 差5℃	-	S-003573	3.29 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出口 温度：65℃以上70℃以下、乾球温度：25℃、湿球 温度：21℃、温水出入口温度差：5℃			
L-000920	産業・業 務(業種 共通)	給湯/産 業用プロセ ス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(空気熱源・ 一過式)	空気を熱源とし、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式 で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含ま ないもの。	-	-	S-003574	4.2 *	-	年間標準貯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	標準規格 による評 価	JRA4060:201 4	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:201 4	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠			
L-000921	産業・業 務(業種 共通)	産業用プ ロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(水熱源・循 環式)	水を熱源とし、遠心式、または回転式圧縮機を使用して、循環式 の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱す る熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。	270kW以下	°	S-003575	3.4 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃、熱源水入口温度：17℃ 熱源水出口温度：7℃、温水出入口温度差：10℃			
						270kW超350kW以下	-	S-003577	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						350kW超540kW以下	°	S-003576	3.2 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						540kW超	-	S-003578	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						温水出口温度65℃、熱源水 入口温度17℃以上30℃以 下、熱源水出口温度7℃以 上20℃以下、温水出入口温 度差10℃	加熱能力	S-003581	4.3 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃、熱源水入口温度：17℃ 以上30℃以下、熱源水出口温度：7℃以上20℃以下 温水出入口温度差：10℃			
						270kW超350kW以下	-	S-003579	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						350kW超540kW以下	°	S-003582	4.4 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						540kW超	-	S-003580	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						温水出口温度65℃、熱源水 入口温度20℃、熱源水出口 温度15℃以上17℃以下、温 水出入口温度差5℃	加熱能力	S-003583	3.6 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を次のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃、熱源水入口温度：20℃ 、熱源水出口温度：15℃以上17℃以下、温水 出入口温度差：5℃			
						270kW超350kW以下	-	S-003585	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						350kW超540kW以下	°	S-003584	3.7 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						540kW超	-	S-003586	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明	
														単位	名称	準拠する規格	規格の名称		準拠する規格
					温水出口温度65℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度25℃以上30℃以下、温 水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	270kW以下	● S-003589	4.2 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出 入口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。 温水出口温度：65℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：25℃以上30℃以下 温水出入口 温度差：5℃
							270kW超350kW以下	-	S-003587	-									
							350kW超540kW以下	-	S-003588	-									
							540kW超	-	S-003590	4.8 *									
					温水出口温度65℃、熱源水 入口温度38℃以上40℃以下、 熱源水出口温度35℃、 温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	270kW以下	● S-003591	5.1 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出 入口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。 温水出口温度：65℃ 熱源水入口温度：38℃ 以上40℃以下 熱源水出口温度：35℃ 温水出入口 温度差：5℃
							270kW超350kW以下	-	S-003592	-									
							350kW超540kW以下	-	S-003594	-									
							540kW超	-	S-003595	-									
					温水出口温度65℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度30℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	270kW以下	● S-003599	4.9 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出 入口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。 温水出口温度：65℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口温度差：10℃
							270kW超350kW以下	-	S-003596	-									
							350kW超540kW以下	-	S-003597	-									
							540kW超	-	S-003600	5.8 *									
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度20℃、熱源水出口 温度15℃以上17℃以下、温 水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	270kW以下	● S-003601	3.1 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出 入口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。 温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：20℃ 熱源水出口温度：15℃以上17℃以下 温水出入口 温度差：5℃
							270kW超350kW以下	-	S-003603	-									
							350kW超540kW以下	-	S-003604	-									
							540kW超	-	S-003605	-									
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度20℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	270kW以下	● S-003612	3.7 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出 入口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。 温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：20℃ 温水出入口温度差：10℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明			
												単位	名称		単位	名称	単位	名称				
						270kW超350kW以下	-	S-003611	-	-												
						350kW超540kW以下	-	S-003610	-	-												
						540kW超	-	S-003608	-	-												
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度25℃以上27℃以下、温 水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	• S-003614	3.7 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：25℃以上27℃以下 温水出入口 温度差：5℃				
						270kW超350kW以下	-	S-003615	-	-												
						350kW超540kW以下	-	S-003616	-	-												
						540kW超	-	S-003617	-	-												
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度35℃以上40℃以下 、熱源水出口温度30℃、 温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW以下	• S-003622	3.9 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：35℃ 以上40℃以下 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口 温度差：10℃				
						270kW超350kW以下	• S-003621	4.3 *														
						350kW超540kW以下	-	S-003620	-	-												
						540kW超	-	S-003619	-	-												
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度35℃、温水出入口温度 差5℃	加熱能力	270kW以下	• S-003624	4.44 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：35℃ 温水出入口温度差：5℃				
						270kW超350kW以下	-	S-003625	-	-												
						350kW超540kW以下	-	S-003626	-	-												
						540kW超	-	S-003627	-	-												
					温水出口温度90℃、熱源水 入口温度17℃、熱源水出口 温度7℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	- S-003628	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：17℃ 熱源水出口温度：7℃ 温水出入口温度差：10℃				
						270kW超350kW以下	• S-003632	2.75 *														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験条件		
												単位	名称	単調する規格	規格の名称	計算式	単調する規格	規格の名称	説明	
						350kW以下	540kW以下		S-003629	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						540kW超			S-003631	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						温水出口温度90℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下		S-003635	-	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：25℃ 温水出入口温度差：5℃
						270kW超350kW以下			S-003634	•	3.1 *	-	-	-	-	-	-	-	-	
						350kW超540kW以下			S-003636	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						540kW超			S-003637	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						温水出口温度90℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW以下		S-003641	•	3 *	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口温度差：10℃
						270kW超350kW以下			S-003640	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						350kW超540kW以下			S-003642	•	3.5 *	-	-	-	-	-	-	-	-	
						540kW超			S-003639	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						温水出口温度90℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下		S-003647	-	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：35℃ 温水出入口温度差：5℃
						270kW超350kW以下			S-003646	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						350kW超540kW以下			S-003644	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						540kW超			S-003645	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L-000922	産業・業務(兼種共通)	産業用プロセス	熱源(ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)	水を熱源とし、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。	-	-	-	S-003649	•	4.3 *	-	年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率	標準規格による評価	JRA4060:2014	業務用ヒートポンプ給湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:2014	業務用ヒートポンプ給湯機	JRA4060:2014に準拠
						水熱源運転、温水出口温度70℃、熱源水入口温度50℃、熱源水出口温度38.6℃、温水出入口温度差50℃	-	-	S-003652	•	10.2 *	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度：70℃ 熱源水入口温度：50℃ 熱源水出口温度：38.6℃ 温水出入口温度差：50℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準 情報№	L2-Tech 水準	指標																
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件												
														単位	名称	標準する規格	規格の名称	計算式	標準する規格	規格の名称	説明							
L-000923	産業・業務 (業種 共通)	産業用プロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式)	空気、または水を熱源とでき、循環式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。	-	-	-	○	S-003654	2.9 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、乾燥温度、湿球温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65℃ 乾燥温度:25℃ 湿球温度:21℃ 温水出入口温度差:5℃				
						-	-	-	●	S-003656	3.6 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を次のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65℃ 熱源水入口温度:20℃以下、熱源水出口温度:15℃以下、温水出入口温度差:5℃		
						-	-	-	○	S-004478	3.05 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:75℃ 熱源水入口温度:17℃以下、熱源水出口温度:10℃以下、温水出入口温度差:10℃	
L-000924	産業・業務 (業種 共通)	産業用プロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式)	空気、または水を熱源とでき、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。	-	-	-	●	S-003669	4.1 *	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	JRA4060:2014	業務用ヒートポンプ給湯機	JRA4060:2014に準拠				
						-	-	-	●	S-003671	3.9 *	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	JRA4060:2014	業務用ヒートポンプ給湯機	JRA4060:2014に準拠		
L-000628	産業・業務 (業種 共通)	産業用プロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	熱風ヒートポンプ(空気熱源・一過式)	空気を熱源とし、一過式の供給方式を用いるヒートポンプ方式で、高温の熱風を発生させる装置	-	-	-	●	S-003672	3.5	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温度、熱風供給温度、外気温度(乾燥温度/湿球温度)を次のとおり、設定することを条件とする。空気入口温度:20℃、熱風供給温度:80℃、外気温度(乾燥温度/湿球温度)25℃/21℃とする。				
L-000895	産業・業務 (業種 共通)	産業用プロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)	水を熱源とし、一過/循環式の供給方式を用いるヒートポンプ方式で、高温の熱風を発生させる熱源装置。	-	-	-	●	S-003673	3.7	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温度、熱風供給温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度を次のとおり設定することを条件とする。空気入口温度:20℃、熱風供給温度:100℃、熱源水入口温度:30℃、熱源水出口温度:25℃			
						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:70℃ 熱源水入口温度:50℃ 熱源水出口温度:38.6℃ 温水出入口温度差:50℃
L-000896	産業・業務 (業種 共通)	産業用プロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式)	水を熱源とし、一過式の供給方式を用いるヒートポンプ方式で、蒸気を発生させる熱源装置。	-	-	-	○	S-003676	3.53 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり設定することを条件とする。蒸気圧力:0.1MPaG 熱源水入口温度:65℃、熱源水出口温度:60℃			
						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり設定することを条件とする。蒸気圧力:0.1MPaG 熱源水入口温度:80℃、熱源水出口温度:70℃
						-	-	-	○	S-003677	2.46 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり設定することを条件とする。蒸気圧力:0.6MPaG 熱源水入口温度:70℃ 熱源水出口温度:65℃
L-000668	産業・業務 (業種 共通)	産業用プロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	蒸気再圧縮装置	産業プロセス等で利用された排熱を回収し、循環式の供給方式を用いるヒートポンプ。低圧の蒸気を圧縮して再利用することで、ボイラ等の蒸気を利用する設備・機器等の省エネを実現可能。	-	-	-	●	S-003680	0.067 *	-	消費電力量	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出蒸気量、給水温度を次のとおり設定することを条件とする。吐出圧力:0.1MPaG以上0.2MPaG以下、吐出蒸気量:1.0ton/h以上2.0ton/h以下、給水温度:80℃			
						-	-	-	●	S-003681	0.064 *	-	消費電力量	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを条件とする。吐出圧力:0.1MPaG以上0.3MPaG以下 吐出蒸気量:3.0ton/h以上 給水温度:80℃	
						-	-	-	●	S-003682	0.085 *	-	消費電力量	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを条件とする。吐出圧力:0.4MPaG以上 吐出蒸気量:1.0ton/h以上1.5ton/h以下 給水温度:80℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				単 位	名 称	評価方法の タイプ	測定単位		評価方法		試験条件		説 明
															単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	
L-000629	産業・業 務（業種 共通）	空調	空調機 （ベレッ トストー ブ）	密閉式ベレッ トストーブ	木質ペレットを燃料とする燃焼機器。木質ペレットを燃焼させた熱を熱交換器により室内の空気に伝え、送風ファンにより部屋の隅々まで温度を行き渡らせる。燃焼させた空気は煙突から排気させるため、室内の空気と交わることはなく、清潔な環境を保持することができる。木質ペレットは、カーボンニュートラルであるため、CO2の排出削減が可能。	-	-	-	● S-003684	77	-	熱効率	標準条件 による評 価	JHIAN- 5601:2004	木質バイオ マス燃焼機 器の試験方 法通則	$\eta = 100 - (q_a + q_b + q_r)$ 、 η : 熱効率[%]、 q_a : 試 験燃料中の発熱量当たり排気ガス中の熱損失 (Q_a) の比、 q_b : 燃焼による熱損失の割合（燃焼基 準）[%]、 q_r : 試験燃料の熱容量当たり排気ガス 中の化学的熱損失 (Q_b)、 q_r : 試験燃料の熱容量 当たり底部格子を通過し残渣物中に残った可燃性 構成物質による熱損失 (Q_r) の残渣物中の可燃性 構成物質による損失の割合（燃焼基準）[%]※ 発熱量は高位発熱量とする	JHIAN- 5601:2004	木質バイオ マス燃焼機 器の試験方 法通則	JHIAN-5601:2004に準拠、試験実施にあたっては、ISO17025に準拠した試験機関による性能評価を行うこととする。		
L-000670	産業・業 務（業種 共通）	給湯	給湯器 （ヒート ポンプ）	ヒートポンプ給 湯機(空気熱源)	空気を熱源とするヒートポンプ方式の給湯機。貯湯ユニットを含むもの。	-	加熱能力	10kW以下 10kW超20kW以下 20kW超30kW以下 30kW超40kW以下 40kW超50kW以下 50kW超	● S-003686 ● S-003687 ● S-003689 ● S-003690 ○ S-003691 ● S-003692	4.2 4.2 3.9 3.8 3.8 3.8	-	年間標準貯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	標準規格 による評 価	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠		
						寒冷地仕様	加熱能力	10kW以下 10kW超20kW以下 20kW超30kW以下 30kW超40kW以下 40kW超50kW以下 50kW超	● S-003693 ● S-003694 ● S-003695 ● S-003696 ○ S-003697 ● S-003699	3.5 3.5 3.5 3.4 3.3 3.3	-	寒冷地年間 標準貯湯加 熱エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠		
L-000672	産業・業 務（業種 共通）	給湯	給湯器 （ガス 式）	潜熱回収型給湯 器	バーナによって加熱した高温の空気により配管内の水を温める機器。潜熱回収型は、従来捨てられていた燃焼排熱を潜熱回収する。	-	-	-	● S-003720	95	-	熱効率	標準規格 による評 価	JISS2109:20 10R	家庭用ガス 温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	JISS2109:20 10R	家庭用ガス 温水機器	JISS2109:2010Rに準拠		
L-000611	産業・業 務（業種 共通）	給湯	ボイラ	温水機	燃焼室、伝熱面、熱交換器からなる。燃焼によって温められた熱媒水と給水管の水とを熱交換させ、その温水を取り出して利用する。熱媒水を真空状態に密閉した状態で循環させる真空式と、熱媒水を大気に開放した状態で温める無圧式が存在する。	-	出力	1000kW未満	○ S-003722	96	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00、または JISB8418:20 00（あるい は、HA- 008:2015ま たはHA- 010:2015）	陸用ボイ ラ—熱効定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機（あ るいは、真 空式温水発 生機または 無圧式温水 発生機）	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠（あるいは、HA-008:2015ま たはHA-010:2015に準拠）	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00、または JISB8418:20 00（あるい は、HA- 008:2015ま たはHA- 010:2015）	陸用ボイ ラ—熱効定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機（あ るいは、真 空式温水発 生機または 無圧式温水 発生機）	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠（あるいは、HA-008:2015ま たはHA-010:2015に準拠）		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標													
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単位	名称		単位	名称	単位	名称						
						1000kW以上2000kW未満	○	S-003728	91															
						2000kW以上	○	S-003731	91															
					潜熱回収型、LPG焚き	出力	1000kW未満	○	S-004517	103	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス焚潜熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 焚潜熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス焚潜熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 焚潜熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)					
						1000kW以上2000kW未満	-	S-004518	-															
						2000kW以上	-	S-004519	-															
					潜熱回収型、都市ガス13A 焚き	出力	1000kW未満	○	S-004532	105	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス焚潜熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 焚潜熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス焚潜熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 焚潜熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)					
						1000kW以上2000kW未満	-	S-004533	-															
						2000kW以上	-	S-004534	-															
					燃料：木質バイオマス	出力	100kW以上200kW未満	○	S-004520	90	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	HA-034-2: 2015または HA-034-1: 2015	日本暖房機 器工業会規 格HA	J I S B8222-1993、HA-034-2: 2015、HA-034- 1: 2015に準拠	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00	随用ボイ ラー熱動定 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠					
						200kW以上300kW未満	○	S-004521	90															
						300kW以上400kW未満	○	S-004522	90															
						400kW以上500kW未満	○	S-004523	90															
						500kW以上600kW未満	○	S-004524	90															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測 定 単 位	評 価 方 法 の タイプ	準 拠 する 規 格	規 格 の 名 称	計 算 方 法	準 拠 する 規 格	規 格 の 名 称	試 験 条 件		
																			単 位	名 称	計 算 式
						燃料：薪	出力	100kW未満	○	S-004526	90	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	HA-034-2： 2015または HA-034-1： 2015	日本暖房機 器工業規 格HA	JISB8222-1993、HA-034-2：2015、HA-034-1： 2015に準拠	JISB8222-1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00	随用ボイ ラー熱効 率方式、真空 式温水発 生機、または 無圧式温水 発生機	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠	
								100kW以上200kW未満	○	S-004527	90										
								200kW以上400kW未満	○	S-004528	85										
								400kW以上	○	S-004529	85										
L-000600	産業・業 務（業種 共通）	産業用ブ ロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(貫 流ボイラ)	燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気 を他に供給する装置。小型・軽量で、空調用、業務用～産業用の幅 広い業種で使用される。	-	蒸発量	1500kg/h未満	●	S-003735	97	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が 規定する 「ボイラー 性能表示基 準値」	随用ボイ ラー熱効 率方式および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が 規定する 「ボイラー 性能表示基 準値」	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫流 ボイラー協会が規定する「ボイラー性能表示基準 値」に準拠	
								1500kg/h以上3000kg/h未満	●	S-003737	98										
								3000kg/h以上	●	S-003739	99										
							潜熱回収型	蒸発量	3000kg/h未満	●	S-003741	102	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が 規定する 「ボイラー 性能表示基 準値」	随用ボイ ラー熱効 率方式および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が 規定する 「ボイラー 性能表示基 準値」	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫流 ボイラー協会が規定する「ボイラー性能表示基準 値」に準拠
								3000kg/h以上	●	S-003745	102										
							クローズド回収型（給水温 度100℃以上）、エアヒー タ（空気予熱器）の搭載	(相当) 蒸発量	3000kg/h未満	○	S-004498	98 *	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	貫流ボイラ 性能表示ガ イドライン	貫流ボイラ 性能表示ガ イドライン	給水温度15℃、給気温度35℃、運転圧力は「貫流 ボイラ性能表示ガイドライン」表1.効率表示圧 力基準に準拠
								3000kg/h以上	○	S-004499	98 *										
L-000675	産業・業 務（業種 共通）	産業用ブ ロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(炉 筒煙管ボイラ)	燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気 を他に供給する装置。中程度の出力で、主に産業用・地域冷暖房用 途で使用される。	-	蒸発量	1500kg/h未満	●	S-003748	92	-	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	
								1500kg/h以上3000kg/h未満	●	S-003750	92										
								3000kg/h以上7200kg/h未満	●	S-003752	96										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
												単位	名称		計算式	単位	規格の名称	規格の名称	説明		
						7200kg/h以上19200kg/h未満	○	S-003754	96												
						19200kg/h以上	●	S-003755	92												
L-000676	産業・業務(業種共通)	産業用プロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(水管ボイラ)	燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気を他に供給する装置。高圧・大容量で、主に化学・製紙業といった産業用や、地域暖房用で使用される。	-	蒸発量	1500kg/h未満	○	S-003757	92	-	ボイラ効率	標準規格による評価	JISB8222-1993	随用ボイラ-熱効定方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222-1993	随用ボイラ-熱効定方式	JISB8222-1993に準拠	
						1500kg/h以上3000kg/h未満	-	S-003759	-												
						3000kg/h以上7200kg/h未満	●	S-003761	96												
						7200kg/h以上19200kg/h未満	○	S-003763	94												
						19200kg/h以上	○	S-003765	94												
L-000621	産業・業務(業種共通)	産業用プロセス	ボイラ	水素ボイラ(貫流ボイラ)	水素の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気を他に供給する装置。水素は燃焼時に水のみしか生成せず、CO2を排出しない事から、炭化水素系燃料からの代替により、大幅にCO2を削減できる。現在は安価に水素が調達可能な副生水素の工場が対象とはなっているが、将来的には水素価格の低下により広く様々な業界で利用できると考えられる。	-	蒸発量	1500kg/h未満	-	S-003767	-	-	ボイラ効率	標準規格による評価	JISB8222-1993	随用ボイラ-熱効定方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫流ボイラ協会が規定する「ボイラ-性能表示基準値」	随用ボイラ-熱効定方式および公益財団法人日本小型貫流ボイラ協会が規定する「ボイラ-性能表示基準値」	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫流ボイラ協会が規定する「ボイラ-性能表示基準値」に準拠	
						1500kg/h以上3000kg/h	●	S-003769	95												
						3000kg/h以上	-	S-003771	-												
L-000689	産業・業務(業種共通)	産業用プロセス	ボイラ	熱媒ボイラ	沸点の高い油を伝熱媒体に使用することによって、常圧で高温が得られる装置。熱媒の種類によって油温度を200℃以上の任意温度にすることが容易にできるため、精度の高い温度制御が必要な化学工業等の加熱、反応用プロセスに多く用いられる。	-	出力	1000kW未満	●	S-003773	92	-	ボイラ効率	標準規格による評価	JISB8222-1993	随用ボイラ-熱効定方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222-1993	随用ボイラ-熱効定方式	JISB8222-1993に準拠	
						1000kW以上2000kW未満	●	S-003775	92												
						2000kW以上	●	S-003777	92												
L-000690	産業・業務(業種共通)	空調/給湯/産業用プロセス	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション	ガスを燃料としエンジン方式により発電し、その際に生じる廃熱を同時回収することにより、燃料を効率的に利用する熱電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水は、製造業のプロセス利用や、施設の空調・給湯などに幅広く使用される。	50Hz	発電出力	5kW以下	●	S-003778	85.5	-	総合効率	標準規格による評価	JISB8121:2009	コージェネレーションシステム用語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JISB8122:2009に準拠	
						5kW超10kW以下	●	S-003779	86.5												
						10kW超25kW以下	●	S-003780	85.5												
						25kW超35kW以下	●	S-003782	88												
						35kW超250kW以下	○	S-003784	90.2												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)	○ ●				S-003786	83.8	測定単位		評価方法の タイプ	参照する規格	規格の名称	計算方法		参照する規格	規格の名称	試験条件	
															単 位	名 称				計算法式	単 位			名 称	説 明
						250kW超500kW以下		○	S-003786	83.8															
						500kW超750kW以下		○	S-003788	87.8															
						750kW超1000kW以下		○	S-003791	87.8															
						3000kW超		●	S-003792	87															
						5kW以下		○	S-003794	29			発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠					
						5kW超10kW以下		○	S-003796	31.5															
						10kW超25kW以下		○	S-003798	33.5															
						25kW超35kW以下		○	S-003800	33.5															
						35kW超250kW以下		○	S-003802	35.5															
						250kW超500kW以下		●	S-003804	41.6															
						500kW超750kW以下		○	S-003805	41.9															
						750kW超1000kW以下		○	S-003807	42.5															
						3000kW超		●	S-003810	49.5															
					50Hz、高速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下		○	S-003811	87			総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠				
							2000kW超3000kW以下		○	S-003813	77.5														
							1000kW超2000kW以下		○	S-003815	43.7			発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠				
							2000kW超3000kW以下		○	S-003817	43.4														
					50Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下		○	S-003819	74.3			総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠				
							2000kW超3000kW以下		○	S-003821	77.9														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標						
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法			試験条件	説 明
														単 位	名 称	標準規格 による評 価		
						1000kW超2000kW以下	• S-003823	45.5	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠	
						2000kW超3000kW以下	○ S-003831	47.8										
					60Hz	発電出力	• S-003833	85.5	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠	
						5kW以下	• S-003835	86.5										
						5kW超10kW以下	• S-003835	86.5										
						10kW超25kW以下	• S-003837	85.5										
						25kW超35kW以下	• S-003839	88										
						35kW超250kW以下	○ S-003841	90.7										
						250kW超500kW以下	○ S-003844	82.1										
						500kW超750kW以下	○ S-003846	87.8										
						750kW超1000kW以下	○ S-003847	87.8										
						3000kW超	• S-003850	87										
						5kW以下	○ S-003851	29	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠	
						5kW超10kW以下	○ S-003860	31.5										
						10kW超25kW以下	○ S-003862	33.5										
						25kW超35kW以下	○ S-003864	33.5										
						35kW超250kW以下	○ S-003867	37										
						250kW超500kW以下	• S-003869	42										
						500kW超750kW以下	○ S-003872	41.3										
						750kW超1000kW以下	○ S-003874	42.5										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単 位	名 称		参照する規格	規格の名称	計算式	参照する規格	規格の名称	説 明				
						3000kW超	• S-003876	49.5																
					60Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	1000kW超2000kW以下	○ S-003878	86.5	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠						
						2000kW超3000kW以下	- S-003881	-																
						1000kW超2000kW以下	○ S-003883	43.3	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠							
						2000kW超3000kW以下	- S-003885	-																
					60Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下	○ S-003888	77	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠						
						2000kW超3000kW以下	○ S-003890	77.9																
						1000kW超2000kW以下	• S-003892	45.5	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠							
						2000kW超3000kW以下	○ S-003895	47.8																
L-000691	産業・業 務(業種 共通)	空調/給湯/ 産業用プ ロセス	コージェ ネレー ション	ガスタービン コージェネレ ーション	ガスを燃料とし、タービン方式により発電し、その際に生じる廃 熱を同時回収する熱電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水 は、製造業のプロセス利用や、施設の空調・給湯などに幅広く使 用される。	50Hz	発電出力	1000kW以下	• S-003593	83	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠					
								1000kW超2000kW以下	○ S-003598	84														
								2000kW超3000kW以下	• S-003602	81.8														
								3000kW超5000kW以下	- S-003606	-														
								5000kW超7000kW以下	- S-003607	-														
								7000kW超10000kW以下	• S-003609	85.2														
								10000kW超40000kW以下	○ S-003613	85.9														
								40000kW超	○ S-003618	84														
								1000kW以下	○ S-003623	18.6	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠					
								1000kW超2000kW以下	• S-003630	27.7														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		試験方法		試験条件				
												単 位	名 称		規格する規格	規格の名称	計算式	規格する規格	規格の名称	説 明			
						2000kW超3000kW以下	○	S-003633	28.4														
						3000kW超5000kW以下	●	S-003638	31.9														
						5000kW超7000kW以下	○	S-003643	39.3														
						7000kW超10000kW以下	○	S-003648	34.3														
						10000kW超40000kW以下	●	S-003650	39.1														
						40000kW超	○	S-003651	40.9														
					60Hz	発電出力	1000kW以下	●	S-003653	83	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISB121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB121:2009に準拠	JISB122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB122:2009に準拠				
						1000kW超2000kW以下	○	S-003655	84														
						2000kW超3000kW以下	●	S-003658	81.8														
						3000kW超5000kW以下	-	S-003659	-														
						5000kW超7000kW以下	-	S-003660	-														
						7000kW超10000kW以下	●	S-003661	85.2														
						10000kW超40000kW以下	○	S-003662	86.8														
						40000kW超	○	S-003663	84														

L2-Tech リスト№	区 分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				-	S-003664	-	測定単位	評価方法の タイプ	標準規格 による評価	標準する規格	規格の名称	計算方法		試験条件
																				単 位	名 称	
L-00692	産業・業 務（業種 共通）	空調/給湯/ 産業用ブ ロセス	コージェ ネレーシ ョン	燃料電池コ ージェネ レーショ ン	ガスを燃料とし、燃料電池方式により発電し、その際に生じる廃熱を同時回収する熱電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水は、製造業のプロセス利用や、施設の空調・給湯などに幅広く使用される。	50Hz 燃料ガスの種類：純 水素	発電出力	75kW 以下	-	S-003683	-	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠		
								75kW 超150kW 以下	•	S-003685	93											
								150kW 超	-	S-003688	-											
								75kW 以下	-	S-003698	-	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠		
								75kW 超150kW 以下	•	S-003700	48											
								150kW 超	-	S-003701	-											
								75kW 以下	-	S-003702	-	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠		
								75kW 超150kW 以下	•	S-003703	91											
								150kW 超	-	S-003704	-											
								75kW 以下	-	S-003705	-	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称
						75kW超150kW以下	75kW以下	-	S-003706	42									
						150kW超	150kW超	-	S-003707	-									
					50Hz 燃料ガスの種類：ハイオガス	発電出力	75kW以下	-	S-003708	-	-	総合効率	標準規格による評価	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	75kW超150kW以下	•	S-003709	84									
						150kW超	150kW超	-	S-003710	-									
						75kW以下	75kW以下	-	S-003711	-	-	発電効率	標準規格による評価	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	75kW超150kW以下	•	S-003712	40									
						150kW超	150kW超	-	S-003713	-									
					60Hz 燃料ガスの種類：純水素	発電出力	75kW以下	-	S-003714	-	-	総合効率	標準規格による評価	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	75kW超150kW以下	•	S-003715	93									
						150kW超	150kW超	-	S-003716	-									
						75kW以下	75kW以下	-	S-003717	-	-	発電効率	標準規格による評価	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	75kW超150kW以下	•	S-003718	48									
						150kW超	150kW超	-	S-003719	-									
					60Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	75kW以下	-	S-003721	-	-	総合効率	標準規格による評価	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	75kW超150kW以下	•	S-003723	91									
						150kW超	150kW超	-	S-003724	-									
						75kW以下	75kW以下	-	S-004476	-	-	発電効率	標準規格による評価	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:2009	りん酸形燃料電池発電システム通則	JISC8801:2009に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の		計算方法		試験条件				
												単 位	名 称	タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	試 験 項 目	説 明	
						75kW以下150kW以下	・ S-003726	42														
						150kW超	- S-004477	-														
					60Hz 燃料ガスの種類：パ イオガス	発電出力	- S-003729	-	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	リニウム燃 料電池発電 システム選 別	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	リニウム燃 料電池発電 システム選 別	JISC8801:2009に準拠						
						75kW以下	・ S-003730	84														
						75kW超150kW以下	- S-003732	-														
						150kW超																
						75kW以下	- S-003733	-	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	リニウム燃 料電池発電 システム選 別	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	リニウム燃 料電池発電 システム選 別	JISC8801:2009に準拠						
						75kW超150kW以下	・ S-003734	40														
						150kW超	- S-003736	-														
L-000695	産業・業 務 (業種 共通)	冷凍冷蔵	冷凍冷蔵 機器	業務用冷凍冷蔵 庫	レストランの厨房やスーパーマーケットのバックヤード等に使用 される冷凍冷蔵庫を指す。家庭用と比較し、急速な冷却機能と高 い断熱性能が求められる。	冷蔵庫：横型	容量	250L以下	- S-003738	280	-	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫—特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫—特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠			
								250L超350L以下	- S-003740	320												
								350L超450L以下	- S-003742	400												
								450L超	- S-003743	470												
						冷蔵庫：縦型	容積	700L以下	- S-003744	340	-	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫—特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫—特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠			
								700L超1200L以下	- S-003746	420												
								1200L超	- S-003747	600												
						冷凍庫：横型	容量	250L以下	- S-003749	810	-	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫—特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫—特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠			
								250L超350L以下	- S-003751	1010												

L2-Tech リストNo	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報No	L2-Tech 水準	指 標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単 位	名 称		参照する規格	規格の名称	計算式	参照する規格	規格の名称	説 明				
						350L超	-	S-003753		1130														
						冷凍庫：縦型	容量																	
						700L以下	-	S-003756		1030														
						700L超900L以下	-	S-003758		1550														
						900L超1200L以下	-	S-003760		2020														
						1200L超1500L以下	-	S-003762		2440														
						1500L超	-	S-003764		3130														
						冷凍冷蔵庫：縦型(冷凍室1室)	容量																	
						250L以下	-	S-003766		1070														
						250L超350L以下	-	S-003768		1190														
						350L超	-	S-003770		1270														
						冷凍冷蔵庫：縦型(冷凍室1室)	容積																	
						1200L以下	-	S-003772		1080														
						1200L超	-	S-003774		1430														
						冷凍冷蔵庫：縦型(冷凍室2室)	容量																	
						900L以下	-	S-003776		1490														
						900L超1200L以下	-	S-003781		1660														
						1200L超	-	S-003783		1810														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明					
														単位	名称	標準する規格	規格の名称		標準する規格	規格の名称			
L-000696	産業・業 務(業種 共通)	動力他	冷凍冷蔵 機器	空気冷凍方式冷 凍機	空気の断熱膨張における温度低下により、マイナス50~100℃の 空気を得る冷凍機。	庫容量(有効容積) 1300m3規模	-	-	-	S-003785	0.42 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費エネルギー[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度を 次のとおり設定することを条件とする。なお、附 属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを 用いる。庫内温度:-60℃			
						庫容量(有効容積) 2600m3規模	-	-	-	S-003787	0.4 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費エネルギー[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度を 次のとおり設定することを条件とする。なお、附 属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを 用いる。庫内温度:-60℃			
L-000697	産業・業 務(業種 共通)	動力他	冷凍冷蔵 機器	冷凍冷蔵倉庫用 自然冷凍冷凍機 (アンモニア /CO2二次冷凍 システム)	アンモニアを一次冷凍、二酸化炭素を二次冷凍(マイナス5~マイ ナス40℃程度)とし、それを庫内に循環させる冷凍機。	庫内温度:-20℃超10℃以下、CO2温度:-17℃超-5℃ 以下、冷却水入り口温度: 32℃	冷凍能力	100kW以下	-	S-003789	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費エネルギー[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、凝縮温度、 CO2温度をそれぞれ以下のとおり設定すること を条件とする。CO2温度:-17℃超-5℃以下、冷却 水入り口温度:32℃			
						100kW超 200kW以下	-	S-003790	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						200kW超	-	S-003793	3.41 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						庫内温度:-20℃超10℃以下、CO2温度:-17℃超-5℃ 以下、冷却水入り口温度: 30℃	冷凍能力	50kW以下	-	S-003795	2.7 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費エネルギー[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、 冷却水入り口温度をそれぞれ以下のとおり設定す ることを条件とする。CO2温度:-17℃超-5℃以 下、冷却水入り口温度:30℃			
						50kW超	-	S-003797	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						庫内温度:-20℃超10℃以下、CO2温度:-17℃超-5℃ 以下、吸込空気温度:32℃	冷凍能力	50kW以下	-	S-003799	1.8 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費エネルギー[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、 吸込空気温度をそれぞれ以下のとおり設定す ることを条件とする。CO2温度:-17℃超-5℃以 下、吸込空気温度:32℃			
50kW超	-	S-003801	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
L-000624	産業・業 務(業種 共通)	動力他	冷凍冷蔵 機器	自然冷凍冷凍冷 蔵コンデンシン グユニット	フロン冷媒により駆動する、従来のコンデンシングユニットに対 して、CO2等の自然冷媒により駆動するコンデンシングユニット	中温用(吸込み圧力飽和温度 +10℃)、吸込ガス過熱度 10K、周囲温度32℃	冷凍能力	16.0kW以下	-	S-003812	2.02	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JRA4019: 2014	コンデンシ ングユニ ット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	JRA4019: 2014	コンデンシ ングユニ ット	JRA4019:2014に準拠			
						50kW超 150kW以下	-	S-003806	2.32 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						150kW超 250kW以下	-	S-003808	2.32 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						250kW超	-	S-003809	2.31 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
														単位	名称	単位	規格の名称	単位	規格の名称	説明			
						16.0kW超24.0kW以下	-	S-003814	-														
						24.0kW超36.0kW以下	○	S-003816	1.84														
						36.0kW超	-	S-003818	-														
					低温用(吸込み圧力飽和温度-40℃、吸込ガス温度10K 周囲温度32℃)	冷凍能力	8.0kW以下	●	S-003820	1.01	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠				
						8.0kW超12.0kW以下	-	S-003822	-														
						12.0kW超18.0kW以下	○	S-003824	0.95														
						18.0kW超	-	S-003825	-														
					中温用(吸込み圧力飽和温度-10℃、吸込ガス温度18℃、空冷式の凝縮器、凝縮器に流入空気温度32℃、周囲温度32℃)	冷凍能力	8.0kW以下	○	S-004479	2.1	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠				
						8.0kW超16.0kW以下	○	S-004480	1.77														
						16.0kW超24.0kW以下	○	S-004481	1.68														
						24.0kW超36.0kW以下	○	S-004482	1.77														
						36.0kW超	-	S-004483	-														
					低温用(吸込み圧力飽和温度-40℃、吸込ガス温度18℃、空冷式の凝縮器、凝縮器に流入空気温度32℃、周囲温度32℃)	冷凍能力	4.0kW以下	○	S-004484	0.94	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠				
						4.0kW超8.0kW以下	○	S-004485	0.91														
						8.0kW超12.0kW以下	○	S-004486	0.85														
						12.0kW超18.0kW以下	○	S-004487	0.91														
						18.0kW超	-	S-004488	-														
					中温用(吸込み圧力飽和温度-10℃、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃)	冷凍能力	16.0kW以下	-	S-004490	-	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠				
						16.0kW超24.0kW以下	-	S-004491	-					JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
						条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	基準とする規格	規格外の名称	計算方法		基準する規格	規格外の名称	試験条件
	単 位	名 称	計算式																		
								24.0kW超36.0kW以下	○	S-004492	2								JRA4019 : 2014	コンデンシ ングユニッ ト	JRA4019 : 2014に準拠
							36.0kW超		-	S-004493	-										
							低適用 (吸込み圧力飽和温度-40℃)・吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器・凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力		S-004494	-	成績係数 (COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシ ングユニッ ト	COP=ΦP、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019 : 2014	コンデンシ ングユニッ ト	JRA4019 : 2014に準拠		
							8.0kW以下		-	S-004495	-										
							8.0kW超12.0kW以下		-	S-004496	0.94										
							12.0kW超18.0kW以下		○	S-004497	-										
							18.0kW超		-	S-004497	-										
L-000698	産業・業務 (業種共通)	照明	照明器具	LED照明器具	発光ダイオード(LED)を光源に使用した照明器具。ただし、電気用品安全法の下でのPSEマークが付与されている製品に限る。	ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°以下	-	-	●	S-003826	133.9	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
						ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°超60°以下	-	-	●	S-003827	134.5	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
						ダウンライト型、温白色、電球色、配光角60°超	-	-	●	S-003828	131.9	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
						ダウンライト型、昼光色、昼白色、白色、配光角30°以下	-	-	●	S-003829	140.1	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
						ダウンライト型、昼光色、昼白色、白色、配光角30°超60°以下	-	-	●	S-003830	162.4	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
						ダウンライト型、昼光色、昼白色、白色、配光角60°超	-	-	○	S-003832	150.1	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部・性能要求事項通、照明器具-第5部；配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明	
														単位	名称	準拠する規格	規格の名称		準拠する規格
										S-003834		固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003836		固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003838		固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003840		固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003842	175.7	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003843	190	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003845	172.8	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003848	164	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
										S-003849	194	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項-通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3.2011、JISC8105-5.2011及び、JISZ8113:1998に準拠
L-000699	産業・業務(業種共通)	動力他	プリンタ/複写機	プリンタ	プリンタの印字方式の主流は、インクジェット方式と電子写真方式であるが、オフィスで主に利用されているものは印刷速度の違い、電子写真方式である。電子写真方式の印刷工程は、帯電、露光、現像、転写、定着、消擦の6工程であり、複写機と同様である。露光部分にLED(発光ダイオード)を用いたLEDプリンタもある。	カラー印刷機能無				S-003852		概念的1週間(稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間+スリープ/オフ状態の2日間)の消費電力量(TEC消費電力量)	標準規格による評価	国際エネルギースタープログラム	国際エネルギースタープログラムで定める計算式	国際エネルギースタープログラムで定める計算式	国際エネルギースタープログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条件	国際エネルギースタープログラムで定める試験条件

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説明	
																計算式	計算式					
										S-003853			概念的1週間 (稼働とス リープ/オフ が繰り返さ れる5日間十 スリープ/オ フ状態の2日 間)の消費 電力量 (TEC消費 電力量)	標準規格 による評 価		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギ ースター プログラムで定める計算式		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギ ースター プログラムで定める試験条 件	国際エネルギ ースター プログラムで定める試験条 件	
L-000700	産業・業 務(業種 共通)	動力他	プリンタ/ 複写機	複合機	複写機能、プリンタ機能、スキャナ機能、ファクシミリ機能のうち2つ以上の機能を有する機器である。	カラー複写機能無	-	-	-	S-003854			概念的1週間 (稼働とス リープ/オフ が繰り返さ れる5日間十 スリープ/オ フ状態の2日 間)の消費 電力量 (TEC消費 電力量)	標準規格 による評 価		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギ ースター プログラムで定める計算式		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギ ースター プログラムで定める試験条 件	国際エネルギ ースター プログラムで定める試験条 件	
						カラー複写機能有	-	-	-	S-003855			概念的1週間 (稼働とス リープ/オフ が繰り返さ れる5日間十 スリープ/オ フ状態の2日 間)の消費 電力量 (TEC消費 電力量)	標準規格 による評 価		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギ ースター プログラムで定める計算式		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギ ースター プログラムで定める試験条 件	国際エネルギ ースター プログラムで定める試験条 件	
L-000701	産業・業 務(業種 共通)	動力他	モータ	誘導モータ	回転子、固定子ともに金属を使用し、固定子に交流電流を流して回転磁界を発生させるとともに、回転子にも誘導電流が流れて磁界が生ずることにより、回転力を得るモータ。産業機械・工作機械等に幅広く用いられる。鉄芯、巻線、冷却ファン等の改善により損失を低減し高効率化が図られている。	50Hz、200V、極数2	容量	0.75kW以下	○	S-003856	85		エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電機機 械-第2-1部：単 一速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トッ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電機機 械-第2-1部：単 一速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トッ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。		
								0.75kW超1.1kW以下	○	S-003857	85.5											
								1.1kW超1.5kW以下	●	S-003858	89.4											
								1.5kW超2.2kW以下	●	S-003859	89.5											
								2.2kW超3.0kW以下	-	S-003861	-											
								3.0kW超3.7kW以下	●	S-003863	89.9											
								3.7kW超4.0kW以下	-	S-003865	-											
								4.0kW超5.5kW以下	●	S-003866	91.2											
								5.5kW超7.5kW以下	●	S-003868	91.5											
								7.5kW超11.0kW以下	●	S-003870	91.9											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標													
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法				試験条件						
												単 位	名 称		計算式	単位の規格	規格の名称	単位の規格	規格の名称	注 明					
										S-003871	92.2														
										S-003873	93.1														
										S-003875	93.8														
										S-003877	94														
										S-003879	94.3														
										S-003880	96.2														
					50Hz、200V、種数4	容量	0.75kW以下			S-003882	84.8		エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 機-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 機-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。					
							0.75kW超1.1kW以下			S-004474	-														
							1.1kW超1.5kW以下			S-003886	86.9														
							1.5kW超2.2kW以下			S-003887	88.6														
							2.2kW超3.0kW以下			S-003889	-														
							3.0kW超3.7kW以下			S-003891	89.4														
							3.7kW超4.0kW以下			S-003893	-														
							4.0kW超5.5kW以下			S-003894	91.9														
							5.5kW超7.5kW以下			S-003896	91.7														
							7.5kW超11.0kW以下			S-003898	92.5														
							11.0kW超15.0kW以下			S-003900	93.1														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験条件	
												単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-003902	94.1										
						18.5kW超22.0kW以下	•	S-003904	93.9										
						22.0kW超30.0kW以下	•	S-003906	94.5										
						30.0kW超37.0kW以下	•	S-003907	95.1										
						37.0kW超	•	S-003910	96										
					50Hz、200V、極数6	容量		S-003912	83.8	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 械—第2— 1部：単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機— 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 械—第2— 1部：単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機— 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。	
						0.75kW超1.1kW以下	-	S-003914	-										
						1.1kW超1.5kW以下	•	S-003915	87.2										
						1.5kW超2.2kW以下	•	S-003917	89.3										
						2.2kW超3.0kW以下	-	S-003918	-										
						3.0kW超3.7kW以下	•	S-003920	89.3										
						3.7kW超4.0kW以下	-	S-003922	-										
						4.0kW超5.5kW以下	•	S-003925	91.1										
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-003926	91.1										
						7.5kW超11.0kW以下	•	S-003929	91.7										
						11.0kW超15.0kW以下	•	S-003931	92.5										
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-003932	92.7										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標						
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格
						18.5kW超22.0kW以下	• S-003934	93.2										
						22.0kW超30.0kW以下	• S-003936	94.2										
						30.0kW超37.0kW以下	• S-003938	93.9										
						37.0kW超	○ S-003940	94.7										
					60Hz、220V、極数2	容量	0.75kW以下	• S-003942	86.2	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電機機 械-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トッ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電機機 械-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トッ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。
						0.75kW超1.1kW以下	○ S-003943	86.3										
						1.1kW超1.5kW以下	• S-003945	90.2										
						1.5kW超2.2kW以下	• S-003946	90.8										
						2.2kW超3.0kW以下	- S-003948	-										
						3.0kW超3.7kW以下	• S-003950	90.9										
						3.7kW超4.0kW以下	- S-003952	-										
						4.0kW超5.5kW以下	• S-003954	91.5										
						5.5kW超7.5kW以下	• S-003956	92.4										
						7.5kW超11.0kW以下	• S-003958	92.4										
						11.0kW超15.0kW以下	• S-003960	93.1										
						15.0kW超18.5kW以下	• S-003962	93.7										
						18.5kW超22.0kW以下	• S-003963	94										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	評価方法		試験条件							
												単 位	名 称		計算式	単位の規格	規格の名称	単位の規格	規格の名称	説 明				
						22.0kW超30.0kW以下			●	S-003965	94.1													
						30.0kW超37.0kW以下			●	S-003967	94													
						37.0kW超			○	S-003968	94.8													
					60Hz、220V、極数4	容量	0.75kW以下		●	S-003970	87.3		エネルギー消費効率	標準規格による評価	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2-1部:単一速度三相かご形誘導電動機の損失及び効率の算定方法または低圧三相かご形誘導電動機-低圧トップランナーモータ	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2-1部:単一速度三相かご形誘導電動機の損失及び効率の算定方法または低圧三相かご形誘導電動機-低圧トップランナーモータ	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。				
						0.75kW超1.1kW以下		-	S-003973	-														
						1.1kW超1.5kW以下		●	S-003975	89.1														
						1.5kW超2.2kW以下		●	S-003977	90.2														
						2.2kW超3.0kW以下		-	S-003979	-														
						3.0kW超3.7kW以下		●	S-003980	90.7														
						3.7kW超4.0kW以下		-	S-003982	-														
						4.0kW超5.5kW以下		●	S-003984	92.8														
						5.5kW超7.5kW以下		●	S-003985	92.9														
						7.5kW超11.0kW以下		●	S-003986	93.3														
						11.0kW超15.0kW以下		●	S-003987	93.6														
						15.0kW超18.5kW以下		●	S-003989	94.7														
						18.5kW超22.0kW以下		●	S-003990	94.7														
						22.0kW超30.0kW以下		●	S-003993	94.9														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算法		試験条件		
												単 位	名 称		重 視 する 規 格	規 格 の 名 称	計 算 式	重 視 する 規 格	規 格 の 名 称
						30.0kW超37.0kW以下	•	S-003994	95.7										
						37.0kW超	•	S-003996	96.3										
					60Hz、220V、極数6	容量		S-003998	85.3	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電機機 械-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トッ プランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電機機 械-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トッ プランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。	
						0.75kW超1.1kW以下	-	S-003999	-										
						1.1kW超1.5kW以下	-	S-004000	-										
						1.5kW超2.2kW以下	•	S-004001	90.4										
						2.2kW超3.0kW以下	-	S-004002	-										
						3.0kW超3.7kW以下	•	S-004003	90.6										
						3.7kW超4.0kW以下	-	S-004004	-										
						4.0kW超5.5kW以下	•	S-004005	92.2										
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-004006	92.4										
						7.5kW超11.0kW以下	•	S-004007	93.2										
						11.0kW超15.0kW以下	•	S-004008	93.4										
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-004009	93.7										
						18.5kW超22.0kW以下	•	S-004010	94.3										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験方法		試験条件		
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称
							22.0kW超30.0kW以下	• S-004011		94.8									
							30.0kW超37.0kW以下	• S-004012		94.9									
							37.0kW超	○ S-004013		95.3									
L-000702	産業・業 務(業種 共通)	動力他	モータ	永久磁石同期 モータ	回転子に永久磁石を使用した同期モータのうち、サーボモータを 含まないもの。鉄道車両・自動車・産業機械等、幅広く用いられ る。	容量	0.75kW以下	• S-004014		92.3	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JISC4034-2- 1:2011	回転電気機 機-第2-1 部-相一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法	JISC4034-2-1:2011に準拠	JISC4034-2- 1:2011	回転電気機 機-第2-1 部-相一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法	JISC4034-2-1:2011に準拠	
							0.75kW超1.5kW以下	• S-004016		90.4									
							1.5kW超2.2kW以下	• S-004017		92.5									
							2.2kW超3.7kW以下	• S-004018		94.8									
							3.7kW超5.5kW以下	• S-004021		94.3									
							5.5kW超7.5kW以下	• S-004022		94.8									
							7.5kW超11kW以下	• S-004023		94.3									
							11kW超15kW以下	• S-004024		95									
							15kW超18.5kW以下	• S-004027		94.9									
							18.5kW超22kW以下	• S-004028		96.2									
							22kW超30kW以下	• S-004030		96.3									
							30kW超37kW以下	• S-004032		95.6									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説 明
								37kW超45kW以下	• S-004033	95.9									
								45kW超55kW以下	• S-004031	96.1									
								55kW超75kW以下	• S-004029	97.4									
								75kW超90kW以下	○ S-004026	96.2									
								90kW超110kW以下	○ S-004025	96.6									
								110kW超132kW以下	○ S-004020	97									
								132kW超160kW以下	○ S-004019	97.2									
								160kW超	- S-004015	-									
L-000719	産業・業 務（業種 共通）	動力他	変圧器	油入変圧器	電磁誘導を利用し、用途に応じて交流電圧を昇降させる装置。低損失磁性体材料を使用する低損失構造とする等、損失を低減する工夫がなされている。クラフト紙・プレスボード等の絶縁物と絶縁油にて構成されている。	油入変圧器、三相、50Hz	定格容量	20kVA以下	• S-003897	125	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠
								20kVA超30kVA以下	• S-003899	138									
								30kVA超50kVA以下	• S-003901	197									
								50kVA超75kVA以下	• S-003903	230									
								75kVA超100kVA以下	• S-003905	276									
								100kVA超150kVA以下	• S-003908	370									
								150kVA超200kVA以下	• S-003909	444									
								200kVA超300kVA以下	• S-003911	584									
								300kVA超500kVA以下	• S-003913	892									
								500kVA超750kVA以下	• S-003916	1520									
								750kVA超1000kVA以下	• S-003919	1965									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		試験方法		試験条件				
												単 位	名 称		単 位	名 称	計 算 式	単 位	規 格 名 称	規 格 名 称	説 明		
						1000kVA超1500kVA以下	• S-003921	2750															
						1500kVA超2000kVA以下	• S-003923	3700															
					油入変圧器、三相、60Hz	定格容量	20kVA以下	• S-003924	120	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠					
						20kVA超30kVA以下	• S-003927	133															
						30kVA超50kVA以下	• S-003928	192															
						50kVA超75kVA以下	• S-003930	220															
						75kVA超100kVA以下	• S-003933	268															
						100kVA超150kVA以下	• S-003935	366															
						150kVA超200kVA以下	• S-003937	440															
						200kVA超300kVA以下	• S-003939	549															
						300kVA超500kVA以下	• S-003941	820															
						500kVA超750kVA以下	• S-003944	1450															
						750kVA超1000kVA以下	• S-003947	1890															
						1000kVA超1500kVA以下	• S-003949	2600															
						1500kVA超2000kVA以下	• S-003951	3365															
					油入変圧器、単相、50Hz	定格容量	10kVA以下	○ S-003953	57	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠					
						10kVA超20kVA以下	○ S-003955	76															
						20kVA超30kVA以下	○ S-003957	102															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		規格の名称		試験条件				
												単 位	名 称		単 位	名 称	計算法	計算法	単 位	名 称	説 明		
						30kVA超50kVA以下	• S-003959	147															
						50kVA超75kVA以下	• S-003961	162															
						75kVA超100kVA以下	• S-003964	210															
						100kVA超150kVA以下	• S-003966	291															
						150kVA超200kVA以下	• S-003969	360															
						200kVA超300kVA以下	• S-003971	470															
						300kVA超500kVA以下	• S-003972	780															
					油入変圧器、単相、60Hz	定格容量	10kVA以下	• S-003974	51	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠					
						10kVA超20kVA以下	• S-003976	68															
						20kVA超30kVA以下	• S-003978	95															
						30kVA超50kVA以下	• S-003981	145															
						50kVA超75kVA以下	• S-003983	165															
						75kVA超100kVA以下	• S-003988	207															
						100kVA超150kVA以下	• S-003991	286															
						150kVA超200kVA以下	• S-003992	354															
						200kVA超300kVA以下	• S-003995	466															
						300kVA超500kVA以下	• S-003997	775															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標																
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測 定 単 位	評 価 方 法 の タ イ プ	計 算 方 法		試 験 条 件												
														単 位	名 称	準 拠 する 規 格	規 格 の 名 称	準 拠 する 規 格	規 格 の 名 称	計 算 式	説 明							
L-000720	産業・業 務(業種 共通)	動力他	変圧器	モールド変圧器	電磁誘導を利用し、用途に応じて交流電圧を昇降させる装置。低 損失磁性体材料を使用する低損失構造とする等、損失を低減する 工夫がなされている。耐熱絶縁電線でコイルを構成し、エポキシ 樹脂でモールドされている。	モールド変圧器、三相、 50Hz	定格容量	20kVA以下	○	S-004035	167	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠								
								20kVA超30kVA以下	○	S-004036	201																	
								30kVA超50kVA以下	○	S-004037	311																	
								50kVA超75kVA以下	○	S-004039	244																	
								75kVA超100kVA以下	●	S-004041	309																	
								100kVA超150kVA以下	●	S-004043	411																	
								150kVA超200kVA以下	○	S-004045	460																	
								200kVA超300kVA以下	●	S-004047	581																	
								300kVA超500kVA以下	●	S-004049	899																	
								500kVA超750kVA以下	●	S-004050	1675																	
								750kVA超1000kVA以下	●	S-004053	2094																	
								1000kVA超1500kVA以下	●	S-004055	3300																	
								1500kVA超2000kVA以下	●	S-004057	4088																	
													モールド変圧器、三相、 60Hz	定格容量	20kVA以下	○	S-004058	157	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	
															20kVA超30kVA以下	○	S-004060	191										
															30kVA超50kVA以下	○	S-004062	301										
															50kVA超75kVA以下	●	S-004064	244										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の	計算法			試験条件				
												単 位	名 称	タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算法	準拠する規格	規格の名称	説 明		
						75kVA超100kVA以下	•	S-004065	293													
						100kVA超150kVA以下	•	S-004066	401													
						150kVA超200kVA以下	•	S-004067	460													
						200kVA超300kVA以下	•	S-004070	592													
						300kVA超500kVA以下	•	S-004071	852													
						500kVA超750kVA以下	•	S-004073	1715													
						750kVA超1000kVA以下	•	S-004075	2028													
						1000kVA超1500kVA以下	•	S-004076	3200													
						1500kVA超2000kVA以下	•	S-004078	4125													
					モールド変圧器、単相、 50Hz	定格容量	○	S-004080	78	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠				
						10kVA超20kVA以下	○	S-004081	115													
						20kVA超30kVA以下	○	S-004083	160													
						30kVA超50kVA以下	•	S-004085	155													
						50kVA超75kVA以下	•	S-004086	181													
						75kVA超100kVA以下	•	S-004088	223													
						100kVA超150kVA以下	•	S-004090	289													
						150kVA超200kVA以下	•	S-004091	369													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称
						200kVA超300kVA以下	● S-004093	496											
						300kVA超500kVA以下	● S-004095	774											
					モールド変圧器、単相、 60Hz	定格容量	10kVA以下	○ S-004097	73	-	全損失	標準規格 による評 価	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	
						10kVA超20kVA以下	○ S-004099	110											
						20kVA超30kVA以下	○ S-004101	150											
						30kVA超50kVA以下	● S-004103	149											
						50kVA超75kVA以下	● S-004105	183											
						75kVA超100kVA以下	● S-004106	228											
						100kVA超150kVA以下	● S-004108	285											
						150kVA超200kVA以下	● S-004110	368											
						200kVA超300kVA以下	● S-004111	491											
						300kVA超500kVA以下	● S-004113	785											
L-000716	産業・業 務(業種 共通)	動力他	モータ利 用機器 (圧縮 機)	蒸気駆動圧縮機	従来の電動コンプレッサと異なり、動力源として電動モータではなく、スチームモータを搭載する。スチームモータは、蒸気を減圧する際に発生するエネルギーを駆動源とする圧縮機。従来の電動コンプレッサ(圧縮機)と比較し、減圧エネルギーを有効利用できるためCO2削減に優れる。ボイラ設備(ボイラ、軟水装置、給水タンク)の蒸気配管減圧弁に並列して設置し、本商品を減圧弁の代替として利用する。	容量、消費蒸気量	37kW、79kg/h	● S-004115	6.95 *	-	消費蒸気原 単位	標準条件 による評 価	-	-	E=B/(A-C)、E:消費蒸気原単位 [-]、A:消費 蒸気量 [kW]、B:吐出空気量 [m3/min]、C: 回収熱量 [kW]	JISB8341- 2008	容積形圧縮 機	JISB8341:2008に準拠。ただし、回収熱量につ いては温水入口温度と温水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。温水入口温度:15°C、 温水出口温度:50°C以上、また、消費蒸気量は メーカー指示値(性能表等)を参照する。	
						55kW、106kg/h	● S-004116	1.93 *											
						75kW、178kg/h	● S-004117	2.18 *											
					高圧蒸気仕様	容量、消費蒸気量	75kW、247kg/h	● S-004118	0.6 *	-	消費蒸気原 単位	標準条件 による評 価	-	-	E=B/(A-C)、E:消費蒸気原単位 [-]、A:消費 蒸気量 [kW]、B:吐出空気量 [m3/min]、C: 回収熱量 [kW]	JISB8341- 2008	容積形圧縮 機	JISB8341:2008に準拠。ただし、回収熱量につ いては温水入口温度と温水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。温水入口温度:15°C、 温水出口温度:50°C以上、また、消費蒸気量は メーカー指示値(性能表等)を参照する。	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	標準規格		計算方法		試験条件		
														単位	名称	標準規格 による評価	規格の名称	標準規格 による評価	規格の名称	試験条件
L-000717	産業・業務 (業種 共通)	動力他	モータ利 用機器 (圧縮 機)	熱回収式ねじ 積形圧縮機	従来は、廃棄されていた圧縮熱を温水として供給可能なねじ積形圧縮機。コンプレッサの廃熱を温水として回収するために取水装置から排水を通過させ、70℃の温水をボイラ給水・戻すことでボイラの燃料消費量が低減可能。また、直接温水利用することも可能。	-	容量、熱回収量	37kW、25kW	-	● S-004034	0.41 *	-	エネルギー 原単位	標準規格 による評 価	JISB8341- 2008	積形形圧縮 機	E=B/(A-C)、E：エネルギー原単位[-]、A：軸 動力[kW]、B：吐出空気量[m3/min]、C：回 収熱量[kW]	JISB8341- 2008	積形形圧縮 機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量につい ては温水入口温度と温水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。温水入口温度：15℃、 温水出口温度：50℃以上
L-000737	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	Low-E複層ガラ ス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うこ とによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるよ うになる。	-	-	-	○ S-004040	2.5	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただ し、L2-Tech水準は、LE3+A6+FL3のガラス構成に おける数値を示す。	
L-000738	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	三層Low-E複層 ガラス	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属 膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラ ス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行 うことができるようになる。	-	-	-	○ S-004042	0.8	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただ し、L2-Tech水準は、LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3の ガラス構成における数値を示す。	
L-000739	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	真空Low-E複層 ガラス	真空ガラスとLow-Eガラスを組み合わせた複層ガラスにすること で、放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことに よって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるよ うになる。	-	-	-	○ S-004044	0.74	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107- 1998及び JISR3209- 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層ガ ラスの性能 の向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号)	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠	JISR3107- 1998及び JISR3209- 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層ガ ラスの性能 の向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号)	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+Ar9+FL3+V0.2+LE3のガラス構成における数 値を示す。	
L-000740	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	アタッチメント 付きLow-E複層 ガラス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することによって、放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチ メントにより、ガラス部分のみを既存サッシに取り付けられるため、 大がかりな工事を必要としない。断熱を行うことによって、より 少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。	-	-	-	○ S-004046	2.6	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただ し、L2-Tech水準は、LE3+A4+FL3「アタッチメ ント付き」のガラス構成における数値を示す。	
L-000771	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	真空ガラス	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を 行うことができるようになる。	-	-	-	○ S-004048	1	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107- 1998及び JISR3209- 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層ガ ラスの性能 の向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号)	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠	JISR3107- 1998及び JISR3209- 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層ガ ラスの性能 の向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号)	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+V0.2+FL3のガラス構成における数値を示 す。	
L-000772	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	現場施工型後付 けLow-E複層ガ ラス	既存の窓ガラスの上からLow-Eガラスを貼ることでLow-E複層ガラ スとして放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うこと によって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるよ うになる。	-	-	-	○ S-004051	1.6	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただ し、L2-Tech水準は、FL6+A12+LE5のガラス構成 における数値を示す。	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測 定 単 位	評 価 方 法 の 名 称	評 価 方 法 の タ イ プ	準 拠 す る 規 格	規 格 の 名 称	計 算 方 法		準 拠 す る 規 格	規 格 の 名 称	試 験 条 件	説 明	
																	計 算 式	計 算 式					
L-000743	産業・業務 (業種 共通)	断熱	窓	薄型Low-E複層 ガラス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメン トを併用することでガラス部分の熱貫流率を断熱サッシに取り付けことが できる。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調 を行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-	-	○	S-004052	2.5	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準を示すガラス構成を LE3+K2.5+FL3とする。		
L-000774	産業・業務 (業種 共通)	断熱	断熱材	断熱材(押出法 ポリスチレン フォーム)	スチレン樹脂・発泡剤・難燃剤等を押出機中で混和・溶融し、大 気中に連続的に押し出して発泡させ、成型後、板状製品に裁断加 工することで製造する。	-	-	-	-	●	S-004054	0.022	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA9511:20 06Rまたは JISA9521:20 14	発泡プラス チック保温 材または建 築用断熱材	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠	JISA9511:20 06Rまたは JISA9521:20 14	発泡プラス チック保温 材または建 築用断熱材	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠		
L-000775	産業・業務 (業種 共通)	断熱	断熱材	断熱材(ガラス ワール)	原材料を1400℃程度の高温で溶解、スピナーと呼ばれる繊維化装 置に孔を開けることにより遠心力で繊維化し、結束剤を添加し綿 状にすることで製造する。	天井用	-	-	-	-	○	S-004056	0.034	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA9521:20 14	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:20 14	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	
						壁用	-	-	-	-	-	-	-	○	S-004059	0.034	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA9521:20 14	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:20 14
L-000625	産業・業務 (業種 共通)	空調	断熱材	真空断熱材	家庭用冷蔵庫の断熱材として使用されている真空断熱材を使用し た断熱材。住宅だけではなく非住宅のリフォーム(内貼断熱工 法)にも向く。	-	-	-	-	●	S-004061	0.002 [†]	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA1412:20 16	断熱線材の 熱抵抗及び 熱伝導率の 測定方法	JISA1412:2016に準拠	JISA1412:20 16	断熱線材の 熱抵抗及び 熱伝導率の 測定方法	JISA1412:2016に準拠		
L-000616	産業・業務 (業種 共通)	乾燥	乾燥装置	蒸気リサイクル 型濃縮乾燥装置	濃縮乾燥プロセスにおいて、被処理物から蒸発した蒸気は従来大 気中に捨てられていたが、この蒸気を圧縮機で昇温昇圧し、被処理 物の加熱源として再利用することにより、投入する化石燃料起因 の蒸気量を大幅低減し、CO2排出量を削減に繋げる装置。	純水：沸点100℃(大気圧 下)	蒸発能力	150L/h	-	○	S-004530	1.79 [†]	-	成績係数 (COP)	実績値に よる評 価	-	-	sysCOP=Cst+M/(Cst+Sη+Cex+E) Cst:水蒸気 の100℃における全熱エンタルピーと25℃にお ける顕熱エンタルピーの差(=2571kJ/kg) M:被 処理物から蒸発させた蒸気量[kg] S:ボイラー蒸 気量[kg] η:熱損失(蒸気熱/燃料熱) Ce:換 算係数 3.6MJ/kWh E:電力消費量[kWh]	-	-	-	-	・本装置は水蒸気と電力を入力として被処理物を 蒸発して蒸縮・乾燥する装置であり、下記の試験 で得たエネルギーのインプット(熱量換算)でア ウトプット(蒸発蒸気の熱量)を除いた値 (システムCOP)。・最終処分性能指針に基 づき、模擬浸出水の濃縮・乾燥を1m3/日以上、60 日以上行った際のデータに基づいて評価。・電 源の周波数は50Hzとする。・ボイラーはA重 油炊きとする。
						750L/h	-	○	S-004531	1.79 [†]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000776	産業・業務 (業種 共通)	動力他	洗濯機	業務用ヒート ポンプ式衣類洗濯 乾燥機	洗濯機と乾燥機からなる。乾燥機部に排熱回収ヒートポンプシ ステムを搭載し、エバポレータにて衣類乾燥後の湿った空気が集 めた熱エネルギーを圧縮機で高温にする。高温の空気をガスクー ラで110℃前後の(または「最大115℃」)高温熱として放出す ることで衣類を乾かす。従来のガス式と比較して、効率的に熱回 収が可能な排熱回収ヒートポンプシステムを採用することで、効 率よく乾燥できる。導入先として、福祉施設、病院、等、幅広い 施設が挙げられる。	-	乾燥能力 (JIS規格)	9kg以上	-	○	S-004063	9.4	-	消費電力量	標準条件 による評 価	JIS C 9606及 びJIS C 9608	電気洗濯 機、回転ド ラム式電気 衣類乾燥機	JIS C 9606及びJIS C 9608に準拠。ただし、洗濯 乾燥1回あたりの電力消費量は、試験(4回以上) によって得られた値の平均値とする。	JIS C 9606及 びJIS C 9608	電気洗濯 機、回転ド ラム式電気 衣類乾燥機	JIS C 9606及びJIS C 9608に準拠。ただし、処理 物、処理条件は以下の通りとする。<処理物> 被洗濯物：JIS規格による標準洗濯乾物量の純 100%×タテル<処理条件>定格電圧：三相交 流200V 被洗濯物あたり水量：5.0L/kg以上 被洗濯 物あたり洗濯時間：洗濯、すすぎ、脱水工程で各 0.5min/kg以上 被洗濯物あたり乾燥時間： 4.0min/kg以下 回転速度：設定できる最速の設定 (乾燥工程はメーカー推奨の回転速度) 乾燥度 (洗濯乾燥後)：97%以上 試験回数：4回以上		
L-000660	産業・業務 (業種 共通)	エネルギー サービス	エネル ギーマ ネジメ ントシ ステム	BEMS(制御 サービス、空 調・熱源・中央 方式)	オフィスビルにおけるエネルギー管理システム、及び同システム を用いたサービスのうち、セントラル空調を対象とした制御サー ビス。	空気熱源仕様	-	-	-	●	S-004068	-	-	エネルギー 消費効率	具備機能 による評 価	-	-	-	-	-	-	-	
						水熱源仕様	-	-	-	-	●	S-004069	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000666	産業・業務 (業種 共通)	動力他	その他	サーバ用電子計 算機	ネットワーク上でサービス等を提供する24時間稼働することを前 提として設計された電子計算機であって、専らネットワー クを介してアクセスされるサーバ型電子計算機に搭載される CPUは専用CISC、RISC、IA64、IA32の4つに分類され、IA64、 IA32といった汎用CPUはエネルギー消費効率が高い。	H※区分は省エネルギー法 による	-	-	-	-	○	S-004072	-	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める試験条件		
						I※区分は省エネルギー法 による	-	-	-	-	○	S-004074	0.13	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める試験条件		
						J※区分は省エネルギー法 による	-	-	-	-	○	S-004077	0.21	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める試験条件		
						K※区分は省エネルギー法 による	-	-	-	-	-	○	S-004079	-	-	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネル ギー法	省エネルギー法で定める試験条件	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ		計算方法		試験条件		
													単位	名称	標準規格 による評価	規格の名称	計算式	標準する規格	規格の名称
										S-004082	0.265		エネルギー 消費効率	標準規格 による評価	省エネルギー 法	省エネルギー法 で定める計算式	省エネルギー 法	省エネルギー法 で定める試験条件	
L-000704	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関 型)	油圧ショベル (内燃機関型)	建設現場で使用される重機の一つ。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたバケットによって掘削等の作業を行う機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。低燃費型エンジンの導入や、情報化施工による効率的な作業の実施により低炭素化を図ることで、CO2排出量の削減が可能となる。	標準バケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未満	-	S-004084	3.8	-	燃費	標準規格 による評価	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014または JCMASH020:2010に準拠	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014または JCMASH020:2010に準拠
							0.36 m3以上0.47 m3未満	-	S-004087	6.2									
							0.47 m3以上0.55 m3未満	-	S-004089	6.6									
							0.55 m3以上0.70 m3未満	-	S-004092	7.4									
							0.70 m3以上0.90 m3未満	-	S-004094	10.8									
							0.90 m3以上1.05 m3未満	-	S-004096	10.7									
							1.05 m3以上1.30 m3未満	-	S-004098	12.1									
							1.30 m3以上1.70 m3未満	-	S-004100	19.4									
L-000705	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関 型)	ブルドーザ(内 燃機関型)	土砂の掘削、押土、盛土、整地作業等に用いられる機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。ディーゼルエンジンの性能向上や、アイドリングの自動停止機能等の装備の他、情報化施工にも対応しており、低炭素化が可能となっている。	定格出力	19kW以上75kW未満	-	S-004102	-	-	燃費	標準規格 による評価	JCMASH021: 2010	土工機械— 燃料消費量 試験方法	JCMASH021:2010に準拠	JCMASH021: 2010	土工機械— 燃料消費量 試験方法	JCMASH021:2010に準拠
							75kW以上170kW未満	-	S-004104	-									
							170kW以上300kW未満	-	S-004107	-									
L-000706	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関 型)	ホイールロー ダ(内燃機関 型)	建設現場で使用される重機の一つ。前方に設置されたバケットで土石をすくいあげ、トラック等に積み込む機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。低燃費型のエンジンの導入や、情報化施工による効率的な作業の実施により低炭素化を図ることで、CO2排出量の削減が可能となる。	定格出力	40kW以上110kW未満、 110kW以上230kW未満	-	S-004109	-	-	燃費	標準規格 による評価	JCMASH022: 2015または JCMASH022: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—ホ イールロー ダまたは土 工機械—燃 料消費量試 験方法—ホ イールロー ダ	JCMASH022:2015または JCMASH022:2010に準拠	JCMASH022: 2015または JCMASH022: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—ホ イールロー ダまたは土 工機械—燃 料消費量試 験方法—ホ イールロー ダ	JCMASH022:2015または JCMASH022:2010に準拠
							40kW以上110kW未満、 110kW以上230kW未満	-	S-004112	24.2									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	標準する規格	規格の名称	計算方法		標準する規格	規格の名称	試験条件	
												単 位	名 称				計算式	説 明				
L-000708	産業(業 種固有)	建設	オフロード特殊自動車(建設機械・ハイブリッド型)	油圧ショベル(ハイブリッド型)	建設現場で使用される重機の一つ。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたバケットによって掘削等の作業を行う機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。ハイブリッド型は、動力としてエンジンと電気モータを組み合わせた油圧ショベル。旋回減速時のエネルギーを回収して電気エネルギーとして蓄電し、加速時の補助エネルギーとして利用することで、エンジンで消費される軽油消費量を低減し、CO2排出量の削減が可能となる。	0.25 m3以上0.36 m3未満	-	S-004114	-	-	-	燃費	標準規格による評価	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010	土工機械－エネルギー消費量試験方法－油圧ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010	土工機械－エネルギー消費量試験方法－油圧ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠			
						0.70 m3以上0.90 m3未満	-	S-004119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000711	産業(業 種固有)	建設	オフロード特殊自動車(建設機械・電気型)	油圧ショベル(電動型)	建設現場で使用される重機の一つ。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたバケットによって掘削等の作業を行う機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。電動型は、動力として電気モータを使用する油圧ショベル。従来型の油圧ショベルで燃料として使用されていた軽油を電力で代替することにより、CO2排出量の削減が可能となる。	0.25 m3以上0.36 m3未満	-	S-004120	-	-	-	電力消費量	標準規格による評価	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010	土工機械－エネルギー消費量試験方法－油圧ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010	土工機械－エネルギー消費量試験方法－油圧ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠			
						0.70 m3以上0.90 m3未満	-	S-004122	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000712	産業(業 種固有)	建設	オフロード特殊自動車(建設機械・電気型)	ブルドーザ(電動型)	土砂の掘削、押土、盛土、整地作業等に用いられる機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。電動型は、ディーゼルエンジンによって発電機を駆動させ、電動モータにより稼働するブルドーザ。電力駆動を採り入れることで低燃費化を実現している。	19kW以上75kW未満	-	S-004123	-	-	-	燃費	標準規格による評価	JCMASH021:2010	土工機械－燃料消費量試験方法	JCMASH021:2010に準拠	JCMASH021:2010	土工機械－燃料消費量試験方法	JCMASH021:2010に準拠			
						75kW以上170kW未満	-	S-004124	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						170kW以上300kW未満	-	S-004127	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000890	産業(業 種固有)	食料品製造業	洗浄乾燥機	遠心脱水型コンテナ(容器)洗浄乾燥機	洗浄水加熱用循環加熱ヒートポンプ、リンス水加熱用空気熱源ヒートポンプ、遠心脱水乾燥機からなる。循環加熱ヒートポンプによって保温された洗浄槽で洗浄し、空気熱源ヒートポンプで加熱された湯でリンスをし、遠心脱水機で乾燥する設備。熱源機でつくった熱風で乾燥する熱風式と遠心脱水機で乾燥する遠心脱水方式がある。従来型と比較してヒートポンプの採用により効率的に洗浄ができ、遠心脱水機の採用により少ない水、消費エネルギーで乾燥ができる。食品・飲料工場や自動車工場等、幅広い用途へ導入が可能である。	75～150サイクル/h	○	S-004129	0.049	-	-	コンテナ1台あたりの電力消費量	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	<処理物> コンテナ：「食品クレート標準共有化ガイドライン」で規定されている食品クレート標準1型、またはII型より、深用<処理条件>高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式)(洗浄側) 温水出口温度：65℃以上70℃以下、乾燥温度：16℃、湿球温度：12℃、温水出入口温度差：5℃高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式)(リンス側)：JRA4000/2014に準拠 含水率(脱水後)：1%未満(ワーク質量に対する割合) 汚れ度(洗浄前/洗浄後) APT値：3000RLU以上/1000RLU未満		
						151～225サイクル/h	○	S-004132	0.036	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000891	産業(業 種固有)	化学工業	蒸留塔	内部熱交換最適化蒸留システム	濃縮部(高圧塔)と回収部(低圧塔)が物理的に分かれており、その間に圧縮機が設置されている蒸留塔。濃縮部の圧力をわずかに上げることで内部温度を上昇させた後、熱を自然循環によって回収部に移動させ蒸留を行う。外部冷却により廃棄させるできなかった熱を自己再利用するため、リボイラーに供給するエネルギーを大幅に削減可能。	-	-	S-004133	-	-	-	エネルギー消費効率	具備機能による評価	-	-	-	-	-	-			
L-000892	産業(業 種固有)	繊維工業	乾燥機	熱回収式工業用繊維物乾燥機	ネットコンベア内の熱風ノズルにより熱風を吹付けることにより、繊維物の染色・水洗後の乾燥・防縮・風合加工を行う設備。乾燥機内で繊維物を乾燥して発生した水蒸気は排気ファンにより排出され最適な状態に保たれる。熱風の熱源としては、ガス直接燃焼による加熱方式と、蒸気、または熱媒体油による熱交換器を用いた間接加熱方式がある。	1室3段	-	S-004128	3.13	-	-	-	単位重量当たりの熱量	シミュレーションによる評価	-	-	-	-	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操業状態において、処理布、処理条件を次のとおり設定することを条件とする。<処理布>：素材：ポリエステル100%繊維物、幅幅：1540mmW、自付：200g/m2、<処理条件>：処理温度：140℃、水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下	
						2000mmW以上2300mmW未満	-	S-004130	3.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						2300mmW以上2500mmW以下	-	S-004131	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				L2-Tech 水準	測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説明
													単位	名称				計算式	試験条件				
						1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004125	3.06	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て				時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下					
					2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004126	3.15																
					2300mmW以上2500mmW 以下	• S-004121	3.33																
					1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004134	2.85	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て				時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下						
					2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004135	2.91																
					2300mmW以上2500mmW 以下	• S-004136	3.01																
					1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004138	2.81	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て				時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下						
					2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004139	2.86																
					2300mmW以上2500mmW 以下	• S-004140	2.94																
					1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004141	2.81	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て				時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下						
					2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004143	2.86																
					2300mmW以上2500mmW 以下	• S-004144	2.94																
					1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004145	-	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て				時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下						
					2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004146	-	-															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明		
												単位	名称		単位	規格	規格	規格			
L-000893	産業（業 種固有）	繊維工業	熱処理機	熱回収式工業用 繊維物熱処理機	繊維物の乾燥後に、繊維物の形態を整え、寸法を安定化するために熱固定を行う設備。熱固定を行う際には、熱風ノズルにより繊維物に熱風を吹付ける。繊維物を加熱することによって発生した熱処理機内の方々は排気ファンにより排出され最適な状態に保たれる。熱風の熱源としては、ガス直接燃焼による加熱方式と、熱媒体油による熱交換器を用いた間接加熱方式がある。	3室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	2300mmW以上2500mmW 以下	● S-004148	2.1	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	Q=(qA+qB+qC+qD+qE)・m、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>素材：ポ リエステル100%繊維、布幅：1540mmW、目付： 200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率（入口/出口）：70～75%/2%以下
								2000mmW以上2300mmW 未満	2300mmW以上2500mmW 以下	● S-004149	2.12										
								2000mmW以上2300mmW 未満	2300mmW以上2500mmW 以下	● S-004150	2.14										
						4室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	2000mmW以上2300mmW 未満	● S-004151	2.05	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	Q=(qA+qB+qC+qD+qE)・m、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>素材：ポ リエステル100%繊維、布幅：1540mmW、目付： 200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率（入口/出口）：70～75%/2%以下
								2000mmW以上2300mmW 未満	2300mmW以上2500mmW 以下	● S-004152	2.05										
								2300mmW以上2500mmW 以下		● S-004475	2.08										
						5室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	2000mmW以上2300mmW 未満	● S-004154	2.01	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	Q=(qA+qB+qC+qD+qE)・m、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>素材：ポ リエステル100%繊維、布幅：1540mmW、目付： 200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率（入口/出口）：70～75%/2%以下
								2000mmW以上2300mmW 未満	2300mmW以上2500mmW 以下	● S-004156	2.01										
								2300mmW以上2500mmW 以下		● S-004157	2.03										
						6室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	2000mmW以上2300mmW 未満	● S-004158	1.98	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	Q=(qA+qB+qC+qD+qE)・m、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失 熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>素材：ポ リエステル100%繊維、布幅：1540mmW、目付： 200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率（入口/出口）：70～75%/2%以下
								2000mmW以上2300mmW 未満	2300mmW以上2500mmW 以下	● S-004159	1.99										
								2300mmW以上2500mmW 以下		● S-004160	2										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				単位重量当 たりの熱量	評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件 説明	
																単位	名称				計算式
						7室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004162	1.96	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温暖 (表面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>素材：ポ リエステル100%織物、布幅：1540mmW、目付： 200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率（入口/出口）：70～75%/2%以下		
								2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004163	1.96											
								2300mmW以上2500mmW 以下	• S-004164	1.98											
						8室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	• S-004166	1.95	-	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温暖 (表面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>素材：ポ リエステル100%織物、布幅：1540mmW、目付： 200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率（入口/出口）：70～75%/2%以下		
								2000mmW以上2300mmW 未満	• S-004167	1.95											
								2300mmW以上2500mmW 以下	• S-004168	1.96											
L-000894	運輸	自動車	自動車 (内燃機 関型)	ガソリン・ ディーゼル車 (乗用車)	(ガソリン車)ガソリンエンジンを搭載した自動車。国内における 乗用車の大半がガソリン車である。(ディーゼル車)ディーゼルエ ンジンを搭載した自動車。	ガソリン車、軽自動車	-	軽自動車	-	S-004170	-	-	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	
						ガソリン車、小型自動車	-	SUV	-	S-004171	-	-	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	
						コンパクトカー	-	S-004172	-		-										
						セダン	-	S-004174	-		-										
						ミニバン	-	S-004175	-		-										
						ワゴン	-	S-004176	-		-										
						ガソリン車、普通自動車	-	SUV	-	S-004178	-	-	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	
						スポーツカー	-	S-004179	-		-										
						セダン	-	S-004180	-		-										

L2-Tech リストNo	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報No	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
												単 位	名 称		算式	規格の名称	規格の名称	説 明			
									-	S-004181	-										
									-	S-004182	-										
									-	S-004184	-		燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に 基づくJC08 モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に 基づくJC08 モードに準拠	
									-	S-004186	-		燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に 基づくJC08 モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に 基づくJC08 モードに準拠	
									-	S-004187	-										
									-	S-004188	-										
									-	S-004189	-										
L-000630	運輸	自動車	自動車 (内燃機 関係)	ディーゼル・天然 ガス車(商用 車・重量車)	(ディーゼル車)ディーゼルエンジンを搭載した自動車。(天然ガス 車)現在、国内で使用されている天然ガス自動車の多くは、ディー ゼル車やガソリン車をベースとし、改造することによって天然ガ ス車として走行している。一方、メーカーにおいては圧縮天然ガ ス(CNG)エンジンの開発も進められている。	貨物自動車、トラクタ		区分1※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004191	-		燃費	標準規格 による評 価	-	国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ て異なる割 合で合算し た燃費値)	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ て異なる割 合で合算し た燃費値)	国土交通省審査で定める試験条件	
								区分2※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004192	-										
								貨物自動車、トラクタ以外		S-004194	-		燃費	標準規格 による評 価	-	国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ て異なる割 合で合算し た燃費値)	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ て異なる割 合で合算し た燃費値)	国土交通省審査で定める試験条件	
								区分2※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004196	-										
								区分3※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004197	-										
								区分4※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004198	-										
								区分5※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004199	-										
								区分6※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004200	-										
								区分7※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004201	-										
								区分8※区分は省エネレ ギー法による	-	S-004203	-										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位) 区分9※区分は省エネルギー法による				区分10※区分は省エネルギー法による	区分11※区分は省エネルギー法による	測定単位		評価方法の タイプ	基準する規格	規格の名称	計算方法		基準する規格	規格の名称	試験条件	
														単位	名称				計算式	試験条件 説明				
										S-004204														
										S-004205														
										S-004206														
										S-004207			燃費	標準規格による評価	国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モード)	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モード)	国土交通省審査で定める試験条件					
										S-004209														
										S-004210														
										S-004211														
										S-004212														
										S-004213														
										S-004215														
										S-004217			燃費	標準規格による評価	国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モード)	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モード)	国土交通省審査で定める試験条件					
										S-004218														
										S-004219														
										S-004220														
										S-004221														
L-000632	運輸	自動車	自動車 (ハイブリッド型)	ハイブリッド自動車(乗用車)	動力として内燃機関と電気モータを組み合わせた自動車。一時的にエネルギーをバッテリーやキャパシタに貯蔵し、必要に応じて電気モータを介して動力とする。効率の低いエンジン作動区域にハイブリッド技術を使うことにより高効率運転が可能となる。	小型自動車		コンパクトカー	-	S-004223			燃費	標準規格による評価	JISD1012:2005に基づくJC08モード	自動車-燃料消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:2005に基づくJC08モード	自動車-燃料消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠				
								セダン	-	S-004224														
								ミニバン	-	S-004225														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算法		試験条件				
												単 位	名 称		単調する規格	規格の名称	単調する規格	規格の名称	説 明		
						普通自動車	-	SUV	-	S-004228	-	-	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車・燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車・燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	
								スポーツカー	-	S-004229	-										
								セダン	-	S-004230	-										
								ミニバン	-	S-004231	-										
								ワゴン	-	S-004232	-										
L-000633	運輸	自動車	自動車 (ハイブリ ッド型)	ハイブリット自 動車(商用車・ 重量車)	動力として内燃機関と電気モータを組み合わせた自動車。一時的 にエネルギーをバッテリーやキャパシタに貯蔵し、必要に応じ電 気モータを介して動力とする。効率的なエンジン作動領域にハ イブリット技術を使うことにより高効率運転が可能となる。	トラクタ以外	-	区分1※区分は省エネ ギー法による	-	S-004234	-	-	燃費	標準規格 による評 価	国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ て異なる割 合で合算し た燃費値)	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ て異なる割 合で合算し た燃費値)	国土交通省審査で定める試験条件		
								区分2※区分は省エネ ギー法による	-	S-004236	-										
								区分3※区分は省エネ ギー法による	-	S-004237	-										
								区分4※区分は省エネ ギー法による	-	S-004238	-										
								区分5※区分は省エネ ギー法による	-	S-004239	-										
L-000635	運輸	自動車	自動車 (電気 型)	電気自動車(乗 用車)	従来の内燃機関のかわりに、バッテリーに充電した電力を動力源 としてモータで走行する自動車。	軽自動車	-	軽自動車	-	S-004241	-	-	交流充電電 力消費量	標準規格 による評 価	JISD1301:20 01に基づく JC08モード	電気自動車 一充電走行 距離及び交 流充電電力 量消費率試 験方法に基 づくJC08 モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:20 01に基づく JC08モード	電気自動車 一充電走行 距離及び交 流充電電力 量消費率試 験方法に基 づくJC08 モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	
								ワゴン	-	S-004242	-	-	交流充電電 力消費量	標準規格 による評 価	JISD1301:20 01に基づく JC08モード	電気自動車 一充電走行 距離及び交 流充電電力 量消費率試 験方法に基 づくJC08 モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:20 01に基づく JC08モード	電気自動車 一充電走行 距離及び交 流充電電力 量消費率試 験方法に基 づくJC08 モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	
L-000643	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ)	家庭用エコ キュート	自然冷媒(CO2)を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65℃ 以上の高温湯きあげが可能な高効率な給湯システム。ヒートポン プユニットと給湯(貯湯)ユニットで構成されている。	一般地仕様、少人数世帯、 保温あり	貯湯容量	185L	●	S-004244	2.8	-	年間給湯保 温効率	標準規格 による評 価	JISC9220:20 11	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	
						一般地仕様、標準世帯、保 温あり、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-004246	4	-	年間給湯保 温効率	標準規格 による評 価	JISC9220:20 11	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位	単 位	名 称	評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説 明
																		計算式	試験条件				
						一般地仕様、標準世帯、保温あり、多缶	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-004248	3	-	年間給湯保温効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠			
						一般地仕様、標準世帯、保温なし、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-004250	3.3	-	年間給湯効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠			
						寒冷地仕様、標準世帯、保温あり、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-004252	3.3	-	寒冷地年間給湯保温効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠			
						寒冷地仕様、標準世帯、保温なし、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-004253	2.9	-	寒冷地年間給湯効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠			
L-000644	家庭	給湯	給湯器(ヒートポンプ)	多機能ヒートポンプ給湯機	自然気体(CO2)を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65℃以上の高温沸きあげ可能な高効率の給湯暖房システム。ヒートポンプユニットと給湯(貯湯)ユニット、床暖房端末で構成されている。1台のヒートポンプによって給湯、および床暖房が可能であるため、高効率化が可能。	一般地仕様、標準世帯、保温あり、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満	○	S-004254	3.9	-	年間給湯保温効率(床暖房部分除く)	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠			
						寒冷地仕様、標準世帯、保温あり、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満	○	S-004256	3	-	寒冷地年間給湯保温効率(床暖房部分除く)	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠			
L-000645	家庭	給湯	給湯器(ガス式)	ガス温水機器(エコジョーズ)	ガスを燃料としたバーナによって加熱した高温の空気により配管内の水を温める機器。	給湯専用機	-	-	●	S-004260	95	-	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2109:2010R	家庭用ガス温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010に準拠			
						暖房給湯兼用機	-	-	●	S-004261	93	-	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2112:2011及びJISS2109:2010R	家庭用ガス温水熱源機及び家庭用ガス温水機器	JISS2112:2011及びJISS2109:2010Rに準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010に準拠			
						暖房専用機	-	-	●	S-004263	87	-	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2112:2011	家庭用ガス温水熱源機	JISS2112:2011に準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010に準拠			
						風呂給湯兼用機	-	-	●	S-004264	95.1	-	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2109:2010R	家庭用ガス温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010に準拠			
L-000646	家庭	給湯	コージェネレーション	家庭用燃料電池(エネファーム・PEFC)	燃料電池は燃料から直接電気エネルギーを取り出すことができ、化石燃料を燃焼させる従来の発電システムに比べて、高い発電効率、優れた環境特性、排熱利用による高い総合効率、量産による低コスト化の可能性等の特長を持つ。発電の原理は、電解質を挟んだ二つの電極に酸素と水を供給して電気と熱を発生させるといったものである。PEFC(固体高分子形燃料電池)は、電解質に固体高分子を用い、動作温度は80~100℃、白金が触媒として使われており、都市ガス、LPG(液化石油ガス)を燃料としている。排熱効率が高く、SS(Daily Start and Stop)が容易である。ここでは、主に家庭用として用いられる製品を取り扱う(現行販売製品の電気の定格出力は1kW以下)。	-	-	-	●	S-004266	95	-	総合効率	標準規格による評価	JISC8823:2008	小形固体高分子形燃料電池システム	JISC8823:2008に準拠	JISC8823:2008	小形固体高分子形燃料電池システムの安全性及び性能試験方法	JISC8823:2008に準拠			
						-	-	-	●	S-004268	39	-	発電効率	標準規格による評価	JISC8823:2008	小形固体高分子形燃料電池システム	JISC8823:2008に準拠	JISC8823:2008	小形固体高分子形燃料電池システムの安全性及び性能試験方法	JISC8823:2008に準拠			
L-000647	家庭	給湯	コージェネレーション	家庭用燃料電池(エネファーム・SOFC)	SOFC(固体酸化燃料電池)は、電解質にセラミックを用い、動作温度は700~750℃である。発電効率が24時間運転が多い。ここでは、主に家庭用として用いられる製品を取り扱う(現行販売製品の電気の定格出力は1kW以下)。	-	-	-	○	S-004269	87	-	総合効率	標準規格による評価	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システム	JISC8841-3:2011に準拠	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説 明
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	
									S-004270	52		発電効率	標準規格 による評 価	JISC8841- 3.2011	小形固体電 化物形燃料 電池システム-第3 部：性能試 験方法及び 環境試験方 法	JISC8841- 3.2011	小形固体電 化物形燃料 電池システム-第3 部：性能試 験方法及び 環境試験方 法	JISC8841-3.2011に準拠	
L-000648	家庭	厨房	冷凍冷蔵庫 機器	電気冷蔵庫	冷媒を用いて圧縮-凝縮-膨張-蒸発の冷凍サイクルを繰り返すこと により庫内を冷却する冷蔵庫。インバータ制御の高効率コンプレッ サーと熱伝導が小さい真空断熱材を使用することにより消費電力量を削減 することが可能である。(大型冷蔵庫の一部では既に採用されている)冷媒 と断熱材にフロンを使用していない冷蔵庫のことを、ノンフロン冷蔵庫と呼 び、現在出荷されている家庭用冷蔵庫のほとんどはイソブタン(冷媒)、シ クロペンタン(断熱材発泡剤)を使用したノンフロン冷蔵庫である。冷蔵 庫の冷却方法には直冷式と間冷式があり、一般に直冷式のほうが効率が 高い。しかし、日本は湿度が高く、冷却器表面に霜がついて冷却能力が 落ちるため、間冷式が主流である。	定格内容積	140L以下	-	S-004271	115	-	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISC9801- 3.2015	家庭用電気 冷蔵庫及び 電気冷凍庫 の特性及び 試験方法- 第3部：消 費電力量及 び内容積の 算出	JISC9801-3.2015に準拠	JISC9801- 3.2015	家庭用電気 冷蔵庫及び 電気冷凍庫 の特性及び 試験方法- 第3部：消 費電力量及 び内容積の 算出	JISC9801-3.2015に準拠
							140L超200L以下	-	S-004272	284									
							200L超250L以下	-	S-004273	319									
							250L超300L以下	-	S-004274	350									
							300L超350L以下	-	S-004275	259									
							350L超400L以下	-	S-004276	360									
							400L超450L以下	-	S-004277	263									
							450L超500L以下	-	S-004278	250									
							500L超	-	S-004279	269									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験条件		説 明		
												単 位	名 称	標準規格 による評価	規格の名称	標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称			
L-000649	家庭	照明	照明器具	LED照明器具 (家庭用)	蛍光灯や白熱灯と比較して高効率で長寿命な白色LED(発光ダイオード)を光源に使用した照明器具が普及している。LED照明は、主に直付付(シーリングカバー付型、ダウンライト型、電球型)があり、他にスポットライト型、ブラケット型などもある。LED素子が器具に取り付けられ、ランプ交換は無いものが大半である。光の広がり(ビームの開き)を広くしたものの、発光色を切り替えるもの等が登場している。一般的には、「温白色、電球色」よりも「昼光色、昼白色、白色」の方がエネルギー効率 (lm/W) は高くなる。	シーリングライト型	通用数値	~4.5畳	-	S-004282	-	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠
								~6畳	○	S-004283	155.4											
								~8畳	●	S-004285	160.4											
								~10畳	○	S-004286	156											
								~12畳	●	S-004287	160.3											
								~14畳	●	S-004288	155.1											
								ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°以下	-	S-004290	-	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°超60°以下	-	S-004292	93.3	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、温白色、電球色、配光角60°超	-	S-004294	100	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、昼光色、昼白色、白色、配光角30°以下	-	S-004295	85.5	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、昼光色、昼白色、白色、配光角30°超60°以下	-	S-004297	106	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、昼光色、昼白色、白色、配光角60°超	-	S-004299	105	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	標準規格		計算方法		標準規格		試験条件	説明
														規格の名称	規格の名称	計算式	規格の名称	規格の名称			
					ペンダントライト型	通用畳数	~4.5畳		● S-004300	125.1	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
							~6畳		● S-004302	138.7											
							~8畳		● S-004303	133.4											
							~10畳		○ S-004304	100											
							~12畳		● S-004305	137.4											
							~14畳		- S-004307	-											
					電球形LEDランプ箱込型、温白色、電球色、電球形LEDランプ2灯以上				○ S-004308	93.4	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
					電球形LEDランプ箱込型、昼白色、昼光色、白色、電球形LEDランプ2灯以上				○ S-004310	84.4	-	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部:性能要求事項通、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
L-000650	家庭	断熱	窓	Low-E複層ガラス(家庭用)	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	新築用	-	-	○ S-004312	2.5	-	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただし、L2-Tech水準は、LE3+A6+FL3のガラス構成における数値を示す。		
L-000651	家庭	断熱	窓	三層Low-E複層ガラス(家庭用)	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	新築用	-	-	○ S-004313	0.8	-	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただし、L2-Tech水準は、LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3のガラス構成における数値を示す。		
L-000652	家庭	断熱	窓	真空Low-E複層ガラス(家庭用)	真空ガラスとLow-Eガラスを組み合わせた複層ガラスにすることで、放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	新築用	-	-	○ S-004314	0.74	-	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)に準拠	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの算定方法及び複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)に準拠		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験仕様		試験条件		説明
												単位	名称	標準規格 による評価	規格の名称	計算式	標準仕様 による評価	規格の名称	試験条件			
L-000653	家庭	断熱	窓	アタッチメント 付きLow-E複層 ガラス(家庭 用)	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメン トにより、ガラス部分のみを既存サッシに取り付けられるため、 大がかりな工事を必要としない。断熱を行うことにより、より 少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住 宅等に導入されている。	リフォーム用	-	-	o	S-004316	2.6	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+A4+FL3(アタッチメ ント付き)のガラス構成における数値を示す。		
L-000654	家庭	断熱	窓	真空ガラス(家 庭用)	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラス。断熱を行うことにより、より少ないエネルギーで空調を 行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	リフォーム用	-	-	o	S-004317	1	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107- 1998及び JISR3209- 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層ガ ラスの性能 の向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26年 11月26日経 済産業省告 示第235号)	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月26日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠	JISR3107- 1998及び JISR3209- 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層ガ ラスの性能 の向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26年 11月26日経 済産業省告 示第235号)	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月26日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+V0.2+FL3のガラス構成における数値を示 す。		
L-000655	家庭	断熱	窓	現場施工型後 付けLow-E複層 ガラス(家庭用)	既存の窓ガラスの上からLow-Eガラスを貼ることで放射による熱 移動量を低減したガラス。断熱を行うことにより、より少ない エネルギーで空調を行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-	o	S-004319	1.6	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE6+A12+LE5のガラス構 成における数値を示す。		
L-000656	家庭	断熱	窓	薄型Low-E複層 ガラス(家庭 用)	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメン トを使用せずにガラス部分のみを既存サッシに取り付けることが できる。断熱を行うことにより、より少ないエネルギーで空調 を行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	リフォーム用	-	-	o	S-004323	2.5	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び複層にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Kr2.5+FL3のガラス構 成における数値を示す。		
L-000657	家庭	空調	窓	Low-E複層ガラ ス・樹脂サッシ	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラスと、樹脂製の サッシを組み合わせた窓。	FIX	-	-	●	S-004324	1.3	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:20 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2:2011に準拠	JISA4710:20 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所「 ムベージ内「住宅・建築物の省エネルギー基準 及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。		
																					引き違い	●

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		準拠する規格		規格の名称		試験条件		説明
												単位	名称	準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称					
										S-004335	0.79	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠				
L-000835	家庭	空調	窓	三層Low-E複層 ガラス・アルミ 樹脂複合サッシ	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属 膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス と、アルミ樹脂複合サッシを組み合わせた窓。アルミ樹脂複合 サッシは、アルミ製(室外側)と樹脂製(室内側)のサッシを室 内側の結露の発生を軽減や断熱性の向上を目的に一体化したも のである。	FIX	-	-	-	S-004336	1.03	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホ ムページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。			
										S-004339	1.22	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠				
										S-004341	1.03	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホ ムページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。			
										S-004343	0.65	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホ ムページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。			
L-000836	家庭	空調	窓	五層Low-E複層 ガラス・樹脂 サッシ	樹脂(塩化ビニル等)等の熱伝導率が低いフレームと、多層の密 閉中空層をもったガラスからなる。中空層には断熱ガス(アルゴ ンガス、クリプトンガス等)を充填することでガラスの熱伝導率 の高さを補う構造。現在日本国内では、樹脂フレームを用いた開 口部には断熱性能が低いものから順に、1枚のガラスを用いたも の、2枚のガラス(一つの密閉中空層)を用いたもの、3枚のガラ ス(二つの密閉中空層)を用いたもの、5枚のガラス(四つの密閉 中空層)を用いたものが使用されており、2枚のガラスを用いたも のが最も多く流通している。今後は省エネ基準義務化等が予定さ れていることから、さらなるガラスの多層化が予想される。従来 品と比較して高い断熱性能を持つことから、特に寒冷地の戸建住 宅への採用に相応しい。	FIX	-	-	-	S-004343	0.65	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホ ムページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。			
										S-004345	-	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部-一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部- フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1.2015及びJISA2102- 2.2011に準拠				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説明
												単位	名称				計算式	計算式				
										S-004346	0.55	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠		
L-000837	家庭	空調	窓	真空ガラス・樹 脂サッシ	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガラスと樹脂サッシを組み合わせた窓。	FIX※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	-	○	S-004348	1.09	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	
									○	S-004350	1.38	-	年間給湯保 温効率(太 陽熱部分除 く)	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	
									○	S-004352	1.19	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	
L-000838	家庭	空調	窓	真空ガラス・アル ミ樹脂複合 サッシ	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガラスとアルミ樹脂複合サッシを組み合わせた窓。アルミ樹脂複合サッシは、アルミ製(室外側)と樹脂製(室内側)のサッシを室内側の結露の発生や断熱性の向上を目的に一体化したものである。	FIX※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	-	○	S-004353	1.32	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	
									○	S-004354	1.66	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計 算-第2部： フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2.2011に準拠	国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	参照する規格	規格の名称	計算方法		参照する規格	規格の名称	試験条件	説明
												単位	名称				計算式	計算式				
										S-004355	1.59	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部：フ レームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102- 2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部：一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流率の計算 -第2部：フ レームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102- 2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホム ページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。		
L-000609	家庭	空調	玄関ドア	金属製玄関ドア	住宅の玄関に使用する。アルミニウムまたはスチールを主材料としたドアにおいて、枠の内側に樹脂を使用して中空部に断熱材を充填。また扉も同様に中空部に断熱材を充填する事で玄関ドアの熱貫流率を低くすることができる。熱貫流率が低い製品ほど冷暖房負荷及びCO2排出量が削減できる。	引き戸	-	-	-	S-004516	0.89	-	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102- 1:2015、 JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部：一 般、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第2部：フ レームの 数値計算方 法	標準規格による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	窓及びドア の熱性能- 熱貫流率 の計算-第 1部：一般 及びドア の熱性能- 熱貫流率 の計算-第 2部：フレ ームの 数値計 算方法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102- 2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホム ページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。		
L-000839	家庭	空調	断熱材	断熱材(家庭用・押出法ポリスチレンフォーム)	ステンレッシュ・発泡剤・難燃剤等を押出機中で混和・溶融し、大気中に連続的に押し出して発泡させ、成型後、板状製品に連続加工することで製造する。	-	-	-	-	S-004356	0.022	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA9511:2006Rまたは JISA9521:2014	発泡プラス チック保温 材または建 築用断熱材	JISA9511:2006Rまたは JISA9521:2014に準拠	JISA9511:2006Rまたは JISA9521:2014	発泡プラス チック保温 材または建 築用断熱材	JISA9511:2006Rまたは JISA9521:2014に準拠		
L-000840	家庭	空調	断熱材	断熱材(家庭用・グラスウール)	原材料を1400℃程度の高温で溶解、スピナーと呼ばれる繊維化装置に孔を開けることにより遠心力で繊維化し、結束剤を添加し綿状にすることで製造する。	天井用	-	-	-	S-004358	0.034	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA9521:2014	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:2014	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠		
						壁用	-	-	-	S-004360	0.032	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA9521:2014	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:2014	建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠		
L-000841	家庭	空調	断熱材	真空断熱材(家庭用)	家庭用冷蔵庫に使用されている、真空断熱材を使用した断熱材。従来の断熱材と比較して薄いため、天井や壁、床等への部分断熱等のリフォーム(内貼断熱工法)に向く。	-	-	-	-	S-004364	0.002	-	熱伝導率	標準規格 による評 価	JISA1412:2016	熱絶縁材の 熱抵抗及び 熱伝導率の 測定方法	JISA1412:2016に準拠	JISA1412:2016	熱絶縁材の 熱抵抗及び 熱伝導率の 測定方法	JISA1412:2016に準拠		
L-000842	家庭	動力他	洗濯機	洗濯乾燥機	洗濯乾燥機とは、洗濯機と衣類乾燥機が一体化した機器である。ヒートポンプシステム(ユニット)が熱交換した熱で衣類を乾燥し、乾燥時に発生する水蒸気もヒートポンプシステム(ユニット)により冷却して除湿している。乾燥時の温度は約70℃前後である。	-	-	-	-	S-004137	0.59	-	消費電力量	標準規格 による評 価	-	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 エネルギー消費効率」	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 エネルギー消費効率」	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 エネルギー消費効率」	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 エネルギー消費効率」	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 エネルギー消費効率」	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 エネルギー消費効率」	
L-000846	家庭	エネルギーマネジメント	エネルギーマネジメントシステム	HEMS(情報提供サービス・家電全般)	一般家庭等での省エネ効果を高めるエネルギー管理システム、及び同システムを用いたサービスのうち、家庭全体のエネルギー消費状況の把握や省エネ・節電を目的とした情報提供サービス。	-	-	-	-	S-004142	-	-	エネルギー消費効率	具備機能 による評 価	-	-	-	-	-	-		
L-000848	家庭	空調	空調機(ヒートポンプ)	ルームエアコン	冷暖による圧縮・凝縮・蒸発のヒートポンプサイクルを繰り返すことにより、室内を冷房あるいは暖房する空気調和機。	冷房能力	2.2kW	2.5kW	2.8kW	S-004155	7.6	-	通年エネルギー消費効率(AFP)	標準規格 による評 価	JISC9612:2005	ルームエアコン コネクティ ョン	JISC9612:2005に準拠	JISC9612:2005	ルームエアコン コネクティ ョン	JISC9612:2005に準拠		
										S-004161	7.6	-										
										S-004165	7.5	-										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法			試験条件						
												単 位	名 称		計算式	単位の規格	規格の名称	単位の規格	規格の名称	説 明				
								3.6kW	●	S-004169	7.6													
								4.0kW	●	S-004173	7.9													
								4.5kW	○	S-004177	6.8													
								5.0kW	○	S-004183	6.2													
								5.6kW	●	S-004185	7.1													
								6.3kW	●	S-004190	6.9													
								7.1kW	●	S-004193	6.5													
								8.0kW	●	S-004195	6.2													
								9.0kW	●	S-004202	5.5													
L-000849	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	ヒートポンプ冷 温水システム	空気熱源を利用するヒートポンプ式の冷温水冷暖房機。暖房時は コンプレッサで圧縮した気相冷媒を凝縮器で凝縮させることによ り温熱を、冷房時は圧縮・凝縮・膨張後の液相冷媒を蒸発器で蒸発 させることにより冷熱を得る。ヒートポンプ方式を採用している ため、冷温熱を高効率に得ることができる。従来は灯油を燃焼さ せ暖房するため、一般的なボイラーの効率が80%であるのに対 し、ヒートポンプ方式を用いることで高い効率となる。導入先は 主に家庭向けとなる。	-	加熱能力	4.0kW以下	-	S-004208	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、行き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度):25℃、行き水温(出湯温度): 40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃
								4.0kW超6.0kW以下	-	S-004214	-													
								6.0kW超7.0kW以下	-	S-004216	-													
								7kW超12kW以下	-	S-004222	-													
								12.0kW超	-	S-004227	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
														単位	名称	標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称	説明
						往き水温(出湯温度)15℃	冷却能力	4.0kW以下	-	S-004233	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を以下のとおり設定することを条件とする。 往き水温(出湯温度): 15℃ 乾球温度: 35℃ 湿球 温度: 24℃ 流量: 6.4L/min
								4.0kW超5.6kW以下	-	S-004235	-									
								5.6kW超7.2kW以下	-	S-004240	-									
								7.2kW超	-	S-004243	-									
						往き水温(出湯温度)7℃	冷却能力	4.0kW以下	●	S-004245	3	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度を以下の とおり設定することを条件とする。戻り水温 (入水温度): 12℃ 往き水温(出湯温度): 7℃ 乾球温度: 35℃
								4.0kW超5.6kW以下	●	S-004247	2.84									
								5.6kW超7.2kW以下	●	S-004249	3									
								7.2kW超	-	S-004251	-									
L-000850	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	ヒートポンプ式 温水床暖房	空気熱源ヒートポンプ式の温水暖房機。コンプレッサーで圧縮し た気相冷媒を冷媒/水熱交換器内で凝縮させることにより温熱を 得る。四方弁の切り替えにより冷熱を供給するタイプも存在す る。ヒートポンプ方式を採用しているため、温熱を高効率に得 ることができる。	加熱能力	5kW以下	●	S-004255	4.62 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度): 25℃、往き水温(出湯温度): 40℃、乾球温度: 7℃、湿球温度: 6℃	
								5kW超7kW以下	○	S-004257	4.32 *									
								7kW超10kW以下	●	S-004258	4.01 *									
								10kW超	●	S-004259	4.3 *									
L-000851	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	ルームエアコン 付温水床暖房	空気熱源ヒートポンプに温水床暖房ユニットとルームエアコン デアンヨナが付加された機器。暖房時は床暖房とエアコンの組み 合わせ運転を主に行う。負荷の大きな立ち上がり時にはエアコン で急速暖房を行い、床暖房の高温送水による効率の低下を抑制。 安定時には床暖房の送水温度を下げるるとともに、エアコンも省エ ネ運転とするなどの制御により高効率化を図る。冷房時はエアコ ンの単独運転となる。	床暖房、エアコン同時運転	加熱能力	5.0kW	○	S-004262	4.5	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度): 30℃、往き水温(出湯温度): 35℃、乾球温度: 7℃、湿球温度: 6℃
								6.7kW	○	S-004265	4.32									
						床暖房単独運転	加熱能力	8.7kW	●	S-004267	4.01	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を以下のとおり設定することを条件とする。 戻り水温(入水温度): 25℃ 往き水温(出湯温度): 40℃ 乾球温度: 7℃ 湿球温度: 6℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)				クラス 能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験条件		
												単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	計算式	説明	
L-000852	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	マルチタイプ温 水床暖房	複数の部屋に設置された温水床暖房ユニットやルームエアコン デーション等と空気熱源ヒートポンプを組み合わせて使用する機 種。1台の空気熱源ヒートポンプが複数の部屋の空調機器に接続で きるため、高効率化が可能。	1室運転時加熱能力	5.0KW	○	S-004280	3.9	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、行き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度):25℃、行き水温(出湯温度): 40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃	
L-000853	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 地中熱利 用)	地中熱ルウムエ アコン	地中熱を利用し、冷媒による圧縮・凝縮・膨張・蒸発のヒートポンプ サイクルを繰り返すことにより、室内を冷房あるいは暖房する空 気調和機。冬季は外気温度より高い温度の熱源を、夏季は外気温 度より低い温度の熱源を利用することで年間を通じて高効率な運 転が可能。	冷房能力	4.0KW	●	S-004427	4	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	JISC9612:2005に準拠	JISC9612:20 13	ルームエ アコンデ ィション	JISC9612:2005に準拠。ただし、地中戻り温度(探 熱温度)については20℃とする。	
L-000854	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 地中熱利 用)	地中熱ヒートポ ンプ冷温水シ ステム(ハイブ リッド式)	空気熱源と地中熱源の2種類の熱源の切り替えが可能なヒートポン プ式の冷温水冷暖房機。圧縮・凝縮・膨張・蒸発のヒートポンプサイ クルを利用して、冷暖房するシステム。暖房時はコンプレッサで 圧縮した気相冷媒を凝縮器で冷媒/水熱交換器内で凝縮させるこ とにより潜熱を、冷房時は圧縮・凝縮・膨張後の液相冷媒を高発 熱で液相冷媒を冷媒/水熱交換器内で蒸発させることにより冷 熱を得る。ヒートポンプ方式を採用しているため、冷熱を高効 率に得ることができる。従来型は灯油を燃焼し暖房するため、一 般的なボイラーの効率が80%であるのに対し、ヒートポンプ方式 を用いることで高い効率となる。導入先は主に家庭向けとなる。	加熱能力	8.0KW 11.0KW	●	S-004429 S-004435	4.3 4.15	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、地中戻り水 温(入水温度)、行き水温(出湯温度)、乾球温度、 湿球温度を次のとおり設定することを条件とす る。地中戻り温度(探熱温度):15℃、行き水温 (出湯温度):40℃、乾球温度:7℃、湿球温度: 6℃	
L-000855	家庭	空調	空調機 (レレッ トストー ブ)	密閉式レレッ トストーブ(家 庭用)	木質ペレットを燃料とする燃焼機器。木質ペレットを燃焼させた 熱を熱交換器により室内の空気に伝え、送風ファンにより部屋の 隅々まで温風を行き渡らせる。燃焼させた空気は煙突から排気さ せるため、室内の空気と交ることはなく、清潔な環境を保つこ とができる。木質ペレットは、カーボンニュートラルであるため、 CO2の排出削減が可能。	-	-	●	S-004437	77	-	熱効率	標準条件 による評 価	JHIAN- 5601:2004	木質バイオ マス燃焼機 器の試験方 法通則	$\eta = 100 - (q_{p1} + q_{p2} + q_{p3})$ 、 η : 熱効率[%]、 q_{p1} : 試 験燃料中の発熱量当たり排気ガス中の熱損失 (Q_{a1})の比、 q_{p2} : 熱による熱損失の割合(燃焼基 準) [%]、 q_{p3} : 試験燃料の熱容量 当たり底部格子を通過し残渣物中に残った可燃性 構成物質による熱損失(Q_{r})の残渣物中の可燃性 構成、物質による損失の割合(燃焼基準) [%]※ 発熱量は高位発熱量とする	JHIAN- 5601:2004	木質バイオ マス燃焼機 器の試験方 法通則	JHIAN:5601:2004に準拠。試験機関にあつて は、ISO17025に準拠した試験機関による性能評 価を行うこととする。	
L-000856	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ・ 太陽熱利 用)	太陽熱熱水器対 応型エコキュ ート	自然冷媒(CO2)を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65℃ 以上の高温沸きあげが可能な高効率の給湯システムに太陽熱熱 水器を組み合わせたシステム。ヒートポンプユニットと給湯(貯 湯)ユニット、集熱器で構成されている。日中は、太陽熱を利用 するため、高効率化が可能。	一般地仕様、標準世帯、保 温あり、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満	○	S-004296	3	-	年間給湯保 温効率(太 陽熱部分除 く)	標準規格 による評 価	JRA4050:200 7R	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JRA4050:2007Rに準拠	JRA4050:200 7R	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JRA4050:2007Rに準拠
							320L以上550L未満	-	S-004298	-			JIS C 9220:2011	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JIS C 9220:2011	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠ただし、以下のとおり設定 することを条件とする。・着湯期高温条件は、 外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温 5℃、沸き上げ温度90℃とする。・冬期給湯保 温モード条件は、外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度68℃とする。 ・着湯期給湯保温モード条件は、外気温(乾球温 度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温 度68℃とする。・夜間消費電力比率は、80% とする。		
						一般地仕様、標準世帯、保 温あり、多缶	貯湯容量	320L以上550L未満	○	S-004301	3	-	年間給湯保 温効率(太 陽熱部分除 く)	JISC9220:20 11	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	
							320L以上550L未満	-	S-004306	-			JIS C 9220:2011	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JIS C 9220:2011	家庭用ヒ ートポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠ただし、以下のとおり設定 することを条件とする。・着湯期高温条件は、 外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温 5℃、沸き上げ温度90℃とする。・冬期給湯保 温モード条件は、外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度68℃とする。 ・着湯期給湯保温モード条件は、外気温(乾球温 度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温 度68℃とする。・夜間消費電力比率は、80% とする。		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験条件		説明		
												単位	名称	標準規格 による評価	規格の名称	標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称			
L-000857	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ・ ガス式)	ハイブリッド給湯機(家庭用)	ヒートポンプ給湯機とガス給湯器に貯湯タンクを組み合わせた家庭用給湯システム。ヒートポンプ給湯機が記録・学習した湯の使用状況に基づいて、ヒートポンプ給湯機を最も高効率となる沸き上げ温度で稼働させ、湯の使用状況に応じてガス給湯器がバックアップする。これによって過剰貯湯や放熱ロスを低減し、CO2排出削減を実現できる。風呂給湯兼用機、給湯暖房兼用機等がある。	給湯専用機(給湯:ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	S-004441	-	年間給湯効率	標準規格による評価	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠			
						給湯暖房兼用機(給湯、暖房:ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	S-004444	-	年間給湯効率	標準規格による評価	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠			
						給湯暖房兼用機(給湯:ヒートポンプ、ガス、暖房:ガス)	-	-	-	S-004446	142.3	年間給湯効率	標準規格による評価	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠			
						風呂給湯兼用機(給湯:ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	S-004448	142.3	年間給湯効率	標準規格による評価	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)の年間給湯効率測定方法	JGKAS A705-2016に準拠			
L-000858	家庭	給湯	給湯器(石油式)	石油温水機器(エコフィール)	石油温水機器は灯油を燃料としたバーナによって加熱した高温の空気により配管内の水を温める機器である。	給湯用のもの(風呂給湯含む)	-	-	-	S-004452	95	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS3031:2009	石油燃焼機器の試験方法通則	JISS3031:2009に準拠	JISS3031:2009	石油燃焼機器の試験方法通則	JISS3031:2009に準拠		
						暖房用のもの	-	-	-	S-004455	93	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS3031:2009	石油燃焼機器の試験方法通則	JISS3031:2009に準拠	JISS3031:2009	石油燃焼機器の試験方法通則	JISS3031:2009に準拠		
L-000860	家庭	給湯	給湯器(太陽熱利用)	真空管形集熱器(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	太陽の光エネルギーを熱エネルギーに変え、水などの熱媒に伝える役割の装置。真空管形は集熱部が真空層を有する二重ガラスで構成され、真空層が空気対流による熱損失を防ぐことができる。外気温との温度差が大きい場合でも集めた熱が外へ逃げにくく、高い効率を維持できる。	-	-	-	S-004457	12694 *	kJ/m2・日	単位面積1日あたりの集熱量	標準規格による評価	JISA4112:2011	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠	JISA4112:2011	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠			
L-000861	家庭	給湯	給湯器(太陽熱利用)	平板形集熱器(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	太陽の光エネルギーを熱エネルギーに変え、水などの熱媒に伝える役割の装置。平板形は集熱部が平板状になっており、表面は透明な強化ガラス板で覆われている。下部には熱が逃げないよう、断熱材が施されている。	-	-	-	S-004461	13954 *	kJ/m2・日	単位面積1日あたりの集熱量	標準規格による評価	JISA4112:2011	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠	JISA4112:2011	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠			
L-000862	家庭	給湯	給湯器(太陽熱利用)	蓄熱槽(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	蓄熱槽は、集熱器で集められた熱を熱交換してお湯を蓄える装置。	-	-	-	S-004465	1.54 *	W/K	熱損失係数	標準規格による評価	JISA4113:2013	太陽蓄熱槽	$KA = \frac{(V \times Cp \times p \cdot (t_8 - t_0))}{(t_8 + t_0) - 2} - \frac{(T \times \Delta \theta)}{(t_8 + t_0) - 2} - \frac{\Delta \theta}{(t_8 + t_0) - 2}$ $\Delta \theta = (t_8 + t_0) - 2$ n : 試験開始時蓄熱媒体温度[°C] t_8 : 試験終了時蓄熱媒体温度[°C] T : 試験開始から試験終了までの時間[s] Cp : 蓄熱媒体の定比熱[J/(kg・K)] p : 蓄熱媒体の密度[kg/m³] θ_n : 周囲温度[°C] n : 1時間ごとに測定した周囲温度の測定回数	JISA4113:2013	太陽蓄熱槽	JISA4113:2013に準拠	JISA4113:2013	太陽蓄熱槽	JISA4113:2013に準拠
						-	-	-	S-004467	93.2 *	%	有効出湯効率	標準規格による評価	JISA4113:2013、BLT SO.2015、またはSS-TS302	太陽蓄熱槽、優良住宅部品性能試験方法蓄熱槽利用システム、または有効出湯効率試験	JISA4113:2013、BLT SO.2015、またはSS-TS302に準拠	JISA4113:2013、BLT SO.2015、またはSS-TS302	太陽蓄熱槽、優良住宅部品性能試験方法蓄熱槽利用システム、または有効出湯効率試験	JISA4113:2013、BLT SO.2015、またはSS-TS302に準拠			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	
												単位	名称				計算式	説明				
L-000863	家庭	動力他	テレビ	液晶テレビ	液晶テレビとは表示装置に液晶を用いた薄型のテレビ受像機をいう。従来はバックライトにCCFL(Cold Cathode Fluorescent Lamp:冷陰極管)を用いていたが、近年は発光効率の良いLED(発光ダイオード)が主流となっている。	サイズ	液晶 18V、19V 型	-	S-004337	32	kWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法			
							液晶 22V 型	-	S-004338	34												
							液晶 23V、24V 型	-	S-004340	30												
							液晶 26V 型	-	S-004342	-												
							液晶 29V 型	-	S-004344	-												
							液晶 32V 型	-	S-004349	34												
							液晶 39V、40V 型	-	S-004428	46												
							液晶 42V 型	-	S-004430	77												
							液晶 46V 型	-	S-004351	-												
							液晶 47V 型	-	S-004357	103												
L-000864	家庭	動力他	電気便座	電気便座	電気便座は内蔵された電気ヒータにより座面を加熱する機能等を持つ便座であり、主にトイレ用の便座のみを有する暖房便座と暖房便座に温水洗浄装置を組み込んだ温水洗浄便座がある。さらに、温水洗浄便座の洗浄に使う温水については貯湯タンクをもつ貯湯式と貯湯タンクのない瞬間式※がある。※使用時に瞬間的に温水をつくる方式。貯湯式のようにお湯を保温しないので消費電力量を削減できる。また、便座の暖房機能(保温)については学習機能やタイマーによる低炭素技術が導入されており、さらにセンサーが人の動きを感知し、瞬間的に便座を温める、瞬間暖房便座機能が付随しているものもある。	-	-	-	S-004436	58	kWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法	省エネ ルギー 法				
						液晶 50V、52V 型	-	S-004359	72													
						液晶 55V 型	-	S-004361	81													
						液晶 58V 型以上	-	S-004362	107													
						液晶 50V、52V 型	-	S-004359	72													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件			
														単位	名称	標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称
L-000780	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	燃料電池	固体酸化物燃料電池(SOFC)設備	電解質を挟んだ二つの電極に酸素と水素を供給して電気と熱を発生させる。燃料種、空気種という2次の電極が、電解質を挟んでいるものをセルといい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックという。セルを直列に接続することで、高い電圧と大きな電力が得られる。	出力	200kW以下 200kW超250kW以下	○ ○	S-004438 S-004439	66.7 65.4	%	セル実効変換効率	標準規格による評価	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013	小形固体酸化物燃料電池システム-第3部:性能試験方法及び環境試験方法及び固体酸化物燃料電池半セル及びスタックの発電性能試験方法	$\eta = (W_{out} - W_{in}) / Q_{f} \times 100$, η_e : 発電効率[%], W_{out} : 送電電力[kWh], W_{in} : 受電電力[kWh], Q_f : 燃料消費熱量(低位発熱量) [kWh]	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013	小形固体酸化物燃料電池システム-第3部:性能試験方法及び環境試験方法及び固体酸化物燃料電池半セル及びスタックの発電性能試験方法	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013に準拠
L-000786	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(シリコン系・単結晶)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。単結晶系は、高純度の単結晶のシリコン基板を使用した太陽電池。実用化されている太陽電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れている。	-	-	●	S-004440	22.63	%	セル実効変換効率	標準規格による評価	JISC8960:2012	太陽光発電用語	JISC8960:2012に準拠	JISC8914:2005	結晶系太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8914:2005に準拠
L-000787	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(シリコン系・多結晶)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。結晶の粒径が数nm程度の多結晶シリコンを利用した太陽電池。変換効率の面では単結晶と比較して低い。単結晶より製造工程が簡便であるため、効率とコストのバランスが良く、普及が進んでいる。	-	-	○	S-004443	16.4	%	モジュール変換効率	標準規格による評価	JISC8914:2005	結晶系太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8914:2005に準拠	JISC8914:2005	結晶系太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8914:2005に準拠
L-000788	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(化合物系)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。本項目では、主成分に銅(Cu)、インジウム(In)、ガリウム(Ga)、セレン(Se)を用いた化合物であるCIGS系について記載する。薄膜で省材料などの長所をもち、わずか2~3μmの厚さであっても光を十分吸収するため、薄膜太陽電池としては高い変換効率が見られる。	-	-	●	S-004445	15.1	%	モジュール変換効率	標準規格による評価	JISC8960:2012	太陽光発電用語	JISC8960:2012に準拠	JISC8939:2013	薄膜太陽電池モジュール	JISC8939:2013に準拠
L-000789	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(薄膜シリコン)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。薄膜系は、ガラス、金属箔、フィルムなどの上に2~3ミクロンの太陽電池の層を形成させるものである。	-	-	○	S-004447	9.6	%	モジュール変換効率	標準規格による評価	JISC8960:2012	太陽光発電用語	JISC8960:2012に準拠	JISC8935:2005	アモルファス太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8935:2005に準拠
L-000790	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	トランスレス方式パワーコンディショナ(太陽光発電用)	太陽光発電用パワーコンディショナは、直流電力を調整するコンバータ、直流電力を交流電力に変換するインバータ、事故時等に系統を保護する系統連系保護装置で構成される。トランスレス方式は、パワーコンディショナ内の直流電圧調整をコンバータのみで行う方式であり、高周波変圧器絶縁方式と比較し、高効率となるものの電力会社系統との連系には、別途変圧器が必要となる。	出力	10kW未満 10kW以上	○ ○	S-004449 S-004450	98 98.4	%	定格負荷効率	標準規格による評価	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	$\eta_R = P_{out} / P_{in} \times 100$, η_R : 定格負荷効率[%], P_{out} : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの出力[kW], P_{in} : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの入力[kW]	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	JISC8961:2008に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		試験方法		試験条件		説 明	
												単 位	名 称		単 位	規 格	単 位	規 格	単 位	規 格		
L-000791	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	高周波変圧器絶縁方式パワーコンディショナ(太陽光発電用)	太陽光発電用パワーコンディショナは、直流電力を交流電力に変換するインバータ、事故時等に系統を保護する系統連系保護装置で構成される。直流電力を交流電力に変換する際に損失が生じることから、変換効率(定格負荷効率)の高いパワーコンディショナの選定が重要となる。高周波変圧器絶縁方式は、パワーコンディショナ内の直流電圧調整をコンバータと変圧器の組み合わせで行う方式であり、トランスレス方式に比較し、電力変換効率は低下するが、パワーコンディショナから出力された電力はそのまま電力会社系統と運送可能となる。	-	-	-	○	S-004451	96.5	%	定格負荷効率	標準規格による評価	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	$\eta R = P_0 / P_i \times 100$ 、 ηR : 定格負荷効率[%]、 P_0 : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの出力[kW]、 P_i : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの入力[kW]	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	JISC8961:2008に準拠		
L-000798	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	水力発電	フロベラ水車(小水力発電用)	水を取り込むケーシングから案内羽根を経て下向き水流に変化させ、羽根の軸方向に流れてこれを回転させる。落差と流量変化によって羽根の角度を自動的に調節できる可動羽根のものはカプラン水車として区別され、フロベラ水車は常に一定の角度の固定羽根のものを指す。	-	出力	200kW未満	○	S-004373	80	%	水車効率	標準規格による評価	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	$\eta = (1,000 \times P) / (g \times p \times Q \times H)$ 、 η : 水車効率[%]、 P : 水車出力[kW]、 g : 重力加速度[m/s ²]、 p : 水の密度[kg/m ³]、 Q : 流量[m ³ /s]、 H : 有効落差[m]	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	JEC4002:1992に準拠		
L-000799	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	水力発電	フランス水車(小水力発電用)	水を取り込むケーシングの中に羽根車(ランナー)を設置し、そこを流れる水の圧力により回転させる水車である。最も一般的な水車で、数10m~数100mの落差に広く使われている。	-	出力	200kW未満	○	S-004454	85	%	水車効率	標準規格による評価	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	$\eta = (1,000 \times P) / (g \times p \times Q \times H)$ 、 η : 水車効率[%]、 P : 水車出力[kW]、 g : 重力加速度[m/s ²]、 p : 水の密度[kg/m ³]、 Q : 流量[m ³ /s]、 H : 有効落差[m]	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	JEC4002:1992に準拠		
L-000803	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	地熱発電	温水熱源小型バイナリー発電設備	バイナリー発電は、水よりも沸点の低い二次媒体を使うため、より低温の地熱流体での発電に適しており、地熱流体で温められた二次媒体の蒸気でタービン回して発電する。生産井から地熱流体を取り出し、地熱流体で二次媒体を温め、蒸気化し、二次媒体の蒸気でタービンを回転させ発電する。二次媒体を温めた後の地熱流体は、還元井から地下に戻し、発電し終わった二次媒体は、凝縮器で液体に戻し、循環ポンプで再度、蒸発器に送る。熱源として温水を利用する。	100℃未満、200V/220V	出力	3.0kW未満	-	S-004456	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	$\eta = P/Q \times 100$ 、 η : 送電端発電効率[%]、 P : 送電端出力[kW]、 Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度: 95℃以下、冷却水入口温度: 20℃以上			
						3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004458	-													
						6.5kW以上45kW未満	●	S-004459	6.2	*												
						45kW以上100kW未満	●	S-004460	6.2	*												
						100kW以上200kW未満	○	S-004462	6.8	*												
200kW以上300kW未満	-	S-004463	-																			
100℃未満、400V/440V	出力	3.0kW未満	-	S-004464	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	$\eta = P/Q \times 100$ 、 η : 送電端発電効率[%]、 P : 送電端出力[kW]、 Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度: 95℃以下、冷却水入口温度: 20℃以上									
3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004466	-																			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件						
														単位	名称	算式	単位	規格	規格	説明		
						6.5kW以上45kW未満	•	S-004404	6.2 *													
						45kW以上100kW未満	•	S-004413	6.8 *													
						100kW以上200kW未満	•	S-004416	6.83 *													
						200kW以上300kW未満	-	S-004417	-													
					100℃以上120℃未満、 200V/220V	出力	3.0kW未満	-	S-004419	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	$\eta = P/O \times 100$, η : 送電端発電効率[%], P : 送電 端出力[kW], O : 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端 出力=(発電端出力)-(作動媒体ポンプ、イン バータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費 電力)	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを 条件とする。温水入口温度: 95℃以下、冷却水入 口温度: 20℃以上			
						3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004420	-													
						6.5kW以上45kW未満	-	S-004421	-													
						45kW以上100kW未満	-	S-004422	-													
						100kW以上200kW未満	-	S-004423	-													
						200kW以上300kW未満	-	S-004424	-													
					100℃以上120℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW未満	-	S-004409	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	$\eta = P/O \times 100$, η : 送電端発電効率[%], P : 送電 端出力[kW], O : 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端 出力=(発電端出力)-(作動媒体ポンプ、イン バータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費 電力)	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを 条件とする。温水入口温度: 115℃以下、冷却水 入口温度: 20℃以上			
						3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004410	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標														
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明						
												単位	名称		単位	名称	単位	名称							
						6.5kW以上45kW未満	-	S-004412	-	-															
						45kW以上100kW未満	-	S-004414	-	-															
						100kW以上200kW未満	-	S-004415	-	-															
						200kW以上300kW未満	-	S-004411	-	-															
					120℃以上250℃未満、 200V/220V	出力	3.0kW未満	-	S-004367	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法											送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを 条件とする。温水入口温度：245℃以下、冷却水 入口温度：20℃以上
						3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004368	-	-															
						6.5kW以上45kW未満	-	S-004369	-	-															
						45kW以上100kW未満	-	S-004370	-	-															
						100kW以上200kW未満	-	S-004371	-	-															
						200kW以上300kW未満	-	S-004372	-	-															
					120℃以上250℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW未満	-	S-004374	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法											送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを 条件とする。温水入口温度：245℃以下、冷却水 入口温度：20℃以上
						3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004375	-	-															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標													
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明						
												単位	名称		算式	算式	規格の名称	規格の名称							
								6.5kW以上45kW未満	-	S-004376	-														
								45kW以上100kW未満	-	S-004377	-														
								100kW以上200kW未満	-	S-004378	-														
								200kW以上300kW未満	-	S-004379	-														
L-000804	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	地熱発電	蒸気熱源小型バイナリー発電設備	バイナリー発電は、水よりも沸点の低い二次媒体を使うため、より低温の地熱流体での発電に選んでおり、地熱流体で温められた二次媒体の蒸気でタービン回して発電する。生産井から地熱流体を取り出し、地熱流体で二次媒体を温め、蒸気化し、二次媒体の蒸気でタービンを回転させ発電する。二次媒体を温めた後の地熱流体は、還元井から地下に戻し、発電し終わった二次媒体は、凝縮器で液体に戻し、循環ポンプで再度、蒸発器に送る。熱源として蒸気を利用する。	200V/220V	出力	3.0kW未満	-	S-004380	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-									蒸気送電端発電効率の算出にあたっては、入口蒸気温度、出口ドレン温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。入口蒸気温度：130℃以下、出口ドレン温度：36℃以上、冷却水入口温度：20℃以上
								3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004381	-														
								6.5kW以上45kW未満	-	S-004382	-														
								45kW以上100kW未満	-	S-004383	-														
								100kW以上200kW未満	-	S-004384	-														
								200kW以上300kW未満	-	S-004385	-														
						400V/440V	出力	3.0kW未満	-	S-004386	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-									蒸気送電端発電効率の算出にあたっては、入口蒸気温度、出口ドレン温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。入口蒸気温度：130℃以下、出口ドレン温度：36℃以上、冷却水入口温度：20℃以上
								3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004387	-														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		規格の名称		計算方法		試験条件		説 明
												単 位	名 称		単 位	名 称	計 算 式	単 位	規 格 の 名 称				
L-000807	エネルギー転換	事業用発電 (再エネ)	バイオメタン発電	ガスエンジン発電設備 (メタン発酵発電用)	バイオメタンガスを燃料にシリンダー内部で燃料の爆発 (膨張) を発生させ、その圧力でピストンを往復動させ、その往復動を回転エネルギーに変える発電装置。ストイキオメトリ燃焼 (理論空気で混合したガスが完全燃焼する方式)、リーンバーンと呼ばれる希薄燃焼の二つの方式があり、最近では予混合圧縮自着火燃焼といわれる高圧縮による自然着火でシリンダー内全体をメラメラと燃える点火プラグを用いないものが環境面や高効率化で注目を集めている。	50Hz	出力	100kW未満	● S-004392	84 *	%	総合効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{out} = \eta_{out-nh}$ (発電端)、 η_{out} : 発電端総合効率[%]、 η_{out} : 発電効率[%]、 η_h : 熱出力効率[%]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
								100kW以上1000kW未満	○ S-004393	41.8 *													
								100kW未満	○ S-004394	32	%	発電効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{out} = (3.6 \times P_{out}) \div (H_f \times F_f) \times 100$ η_{out} : 発電効率[%] P_{out} : 発電出力 (発電端) [kW] H_f : 燃料の低位発熱量 [MJ/m ³ N] F_f : 燃料消費量 [m ³ N/h]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
								100kW以上1000kW未満	○ S-004395	38.8													
						60Hz	出力	100kW未満	● S-004396	84 *	%	総合効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{out} = \eta_{out-nh}$ (発電端)、 η_{out} : 発電端総合効率[%]、 η_{out} : 発電効率[%]、 η_h : 熱出力効率[%]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
								100kW以上1000kW未満	- S-004397	-													
								100kW未満	○ S-004398	32	%	発電効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{out} = \eta_{out-nh}$ (発電端)、 η_{out} : 発電端総合効率[%]、 η_{out} : 発電効率[%]、 η_h : 熱出力効率[%]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
								100kW以上1000kW未満	- S-004399	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	説明				
														単位	名称			標準条件 による評価	規格の名称		
L-000808	エネルギー転換	地域熱供給	熱輸送	潜熱蓄熱輸送設備	潜熱蓄熱材 (PCM:Phase Change Material) をコンテナに充填し、PCMの融解熱として高密度に熱エネルギーを蓄えて、車輦により広範囲に熱を供給する技術。	蓄熱容量、排熱源温度	蓄熱容量850kWh以上、排熱源温度130℃以上	[q]	エネルギー効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	環境省により独自に設定された方法	計算式	環境省により独自に設定された方法	規格の名称	試験条件	説明				
							蓄熱容量850kWh以上、排熱源温度130℃未満											エネルギー効率の算出にあたっては、供給距離、車両燃費、供給温度を次のとおり設定することを条件とする。供給距離：10km、車両燃費：蓄熱容量850kWh以上 2.5km/L、蓄熱容量850kWh未満 4.0km/L			
L-000829	廃棄物・リサイクル	リサイクル	リン回収設備	リン回収設備 HAP法（し尿・浄化槽汚泥用）	りん酸を含む汚水の生物処理水に対して、晶析槽においてカルシウム材を追加し、pH調整することによりHAP(ヒドロキシアパタイト、(Ca10(PO4)6(OH)2)の結晶を析出させる方法。回収したリンは副産りん酸肥料として再利用可能。						80 *	%	PO4-P除去率	標準条件による評価	環境省手引き	リン回収・利活用の手引き	(晶析槽入口PO4-P濃度-晶析槽出口PO4-P濃度)/晶析槽入口PO4-P濃度	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課	リン回収・利活用の手引き	処理量の内訳 し尿：浄化槽汚泥= 4：6、し尿T-P濃度：270mg/L、し尿PO4-P濃度：189mg/L、浄化槽汚泥T-P濃度：150mg/L、浄化槽汚泥PO4-P濃度：60mg/L、混合T-P濃度：198mg/L、混合PO4-P濃度：112mg/L	
L-000830	廃棄物・リサイクル	リサイクル	リン回収設備	リン回収設備 MAP法（し尿・浄化槽汚泥用）	りん酸を含む汚水に対して、晶析槽においてマグネシウム材を追加し、pH調整することによりMAP(リン酸マグネシウムアンモニウム、(MgNH4PO4)の結晶を析出させる方法。回収したリンは化成肥料として再利用可能。						75 *	%	PO4-P除去率	標準条件による評価	環境省手引き	リン回収・利活用の手引き	(晶析槽入口PO4-P濃度-晶析槽出口PO4-P濃度)/晶析槽入口PO4-P濃度	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課	リン回収・利活用の手引き	処理量の内訳 し尿：浄化槽汚泥= 4：6、し尿T-P濃度：270mg/L、し尿PO4-P濃度：189mg/L、浄化槽汚泥T-P濃度：150mg/L、浄化槽汚泥PO4-P濃度：60mg/L、混合T-P濃度：198mg/L、混合PO4-P濃度：112mg/L	
L-000831	廃棄物・リサイクル	リサイクル	リン回収設備	リン回収設備 MAP法（下水汚泥用）	脱水の渣からリン回収する従来事例に対し、よりリン含有量の高い下水汚泥からMAP（リン酸マグネシウムアンモニウム）として回収する「MAP法」が平成24/25年度国交省B-DASH採択事業で開発された。回収したリンは配合肥料（化成肥料）として再利用可能。						90 *	%	PO4-P除去率	標準条件による評価	国土交通省ガイドライン	資料No.805 B-DASHプロジェクト NO.6 2014年8月汚泥からのリン除去・回収技術導入ガイドライン(案)	(消化汚泥PO4-P濃度-リン処理PO4-P濃度)/消化汚泥PO4-P濃度	国土交通省 国土技術政策総合研究所	資料No.805 B-DASHプロジェクト NO.6 2014年8月汚泥からのリン除去・回収技術導入ガイドライン(案)	消化汚泥濃度 (TS)：1.7%、消化汚泥T-P濃度：600mg/L、消化汚泥PO4-P濃度：200mg/L	
L-000833	廃棄物・リサイクル	リサイクル	選別機	近赤外線樹脂選別機	プラスチックに近赤外線を照射すると材質により吸収される波長が異なることを利用し、特定の材質の選別を行う。コンベア先端のエアノズルで吹き落とし選別する。PVC、PVC除去（サマールリサイクル）やPP、PS、ABS選別（マリアルリサイクル）に使用される。						3	種類	選別樹脂種類	標準条件による評価	環境省交付規定	H27年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業）交付規定	選別樹脂種類に残渣は含まない	環境省により独自に設定	選別純度：99%。（ベルトコンベア幅100mmあたりの樹脂の投入量が50kg/h以内の場合）		

別紙

No.	設備・機器等	クラス		L2-Tech水準	備 考
		条件	能力		
水準1	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	空気熱源仕様	-	<p>下記の①～⑤の条件を満たすBEMSサービスであること。</p> <p>①冷水負荷熱量、冷水出口温度、外気温度、熱源機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量を計測できる機能を保有</p> <p>②上記①の計測粒度が1分単位以内であること</p> <p>③冷水負荷熱量、冷水出口温度、外気温度、を説明変数として、合計のエネルギー消費量(熱源機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量の合計)が最小となるような冷水出口温度を(過去の実績データに基づいて)自動で算出できる機能を保有</p> <p>④上記の算出結果に基づいて冷水出口温度を自動制御できる機能を保有</p> <p>⑤導入可能な施設が、限定されない</p>	<p>複数の設備・機器等及び事業者にまたがりサービスが提供されるケースが存在するため、「BEMSサービス」を認証単位とした。その上で、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>事例調査の結果、BEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い中央方式の空調機を対象とした制御サービスを認証対象として設定した。文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件は、下記の通りとし、本リストでは下記の「要件0」及び「要件1」に基づいて水準を設定している。</p> <p>要件0(必須)：導入可能な施設が限定されない</p> <p>要件1：セントラル空調システム全体のエネルギー消費量が最小となる負荷熱量を自動で算出し、それに基づいて自動的にシステムを制御可能</p>
水準2	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	水熱源仕様	-	<p>下記の①～⑤の条件を満たすBEMSサービスであること。</p> <p>①冷水負荷熱量、冷水出口温度、冷却水入口温度、外気温度、熱源機エネルギー消費量、熱源補機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量、冷却水ポンプエネルギー消費量を計測できる機能を保有</p> <p>②上記①の計測粒度が1分単位以内であること</p> <p>③冷水負荷熱量、冷水出口温度、冷却水入口温度、外気温度を説明変数として、合計のエネルギー消費量(熱源機エネルギー消費量、熱源補機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量、冷却水ポンプエネルギー消費量の合計)が最小となるような冷水出口温度を(過去の実績データに基づいて)自動で算出できる機能を保有</p> <p>④上記③の算出結果に基づいて冷水出口温度を自動制御できる機能を保有</p> <p>⑤導入可能な施設が、限定されない</p>	<p>複数の設備・機器等及び事業者にまたがりサービスが提供されるケースが存在するため、「BEMSサービス」を認証単位とした。その上で、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>事例調査の結果、BEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い中央方式の空調機を対象とした制御サービスを認証対象として設定した。文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件は、下記の通りとし、本リストでは下記の「要件0」及び「要件1」に基づいて水準を設定している。</p> <p>要件0(必須)：導入可能な施設が限定されない</p> <p>要件1：セントラル空調システム全体のエネルギー消費量が最小となる負荷熱量を自動で算出し、それに基づいて自動的にシステムを制御可能</p>
水準3	HEMS (情報提供サービス・家電全般)	-	-	<p>下記の①～⑤の条件を満たすHEMSサービスであること。</p> <p>①対象住宅全体の電力消費量を、30分単位以内で計測できる機能を保有</p> <p>②上記①において計測したエネルギー消費量と、他住宅で計測したエネルギー消費量を比較し、対象住宅全体のエネルギー消費量のランキング情報を表示できる機能を保有</p> <p>③上記②のランキング情報を、対象住宅におけるユーザー属性別※に表示できる機能を保有 ※地域別、間取別、家族構成別の3種いずれも</p> <p>④導入可能な住宅が、単一の住宅メーカーが供給する住宅に限定されない</p> <p>⑤導入の際にインターネット接続サービスへの加入が必要な場合、集合住宅向け全戸一括契約型のサービス加入を前提としない</p>	<p>複数の設備・機器等及び事業者にまたがりサービスが提供されるケースが存在するため、「HEMSサービス」を認証単位とした。その上で、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>事例調査の結果、HEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い家電全般を対象とした情報提供サービスを認証対象として設定した。文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件は、下記のいずれかとし、本リストでは「要件0」および「要件3」を対象とし水準を設定している。</p> <p>要件0(必須)：導入可能な住宅が限定的されていない</p> <p>要件1：現状のエネルギー消費量に応じて省エネアドバイス、および目標の省エネ量が提供可能</p> <p>要件2：現状の光熱水道費に応じて節約アドバイス、および目標の節約額を提供可能</p> <p>要件3：エネルギー消費量が類似している世帯との比較情報の提供が可能</p> <p>要件4：過去のサービス利用履歴の情報に基づいて、より興味・関心の強い情報の提供が可能</p> <p>要件5：現状のエネルギー消費量が自身の平均的な消費量と比較して多くなったタイミングで、消費量が多いことを閲覧頻度が多い媒体へPush配信可能</p>
水準4	内部熱交換最適化蒸留システム	蒸留塔が高圧部(濃縮部)と低圧部(回収部)とで物理的に分離しており一体型でないもの	-	<p>下記の①および②の条件を満たす蒸留システムであること。</p> <p>①高圧部と低圧部とで熱交換できる機能を保有</p> <p>②蒸留塔内部の熱分布を調整し熱交換率を最適化できる機能を保有</p>	<p>本設備・機器等は、個別受注設計生産されるため標準条件(試験条件、計算方法)を設定し、定量評価する方法はそくわないと判断し、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、本設備・機器等として求められる機能要件をL2-Tech水準とした。</p>